

IPv4 over IPv6 対応 Wi-Fi アクセスポイント/ルーター

FGN[®] 1300W

— 設定説明書 —



目次

安全にお使い頂くために	4
1 はじめに	8
1.1 製品の特長	8
1.2 各部の名称と機能	8
2 Web 設定について	10
2.1 Web GUI へのアクセス方法	10
2.1.1 GUI にアクセス出来ない場合の確認事項	11
2.2 各設定ボタン動作について	11
3 状態表示	12
4 動作モード	18
5 ネットワーク設定	20
5.1 LAN 設定	20
5.1.1 DHCP サーバーのクライアント表示	21
5.1.2 固定 IP アドレス付与設定	22
5.2 WAN 設定	23
5.2.1 IPv4 設定 WAN 接続モード DHCP クライアント	24
5.2.2 IPv4 設定 WAN 接続モード PPPoE クライアント	26
5.2.3 IPv4 設定 WAN 接続モード IP アドレス固定	28
5.2.4 IPv6 設定 WAN 接続モード v6 コネクト	30
5.2.5 IPv6 設定 WAN 接続モード 無効	30
5.3 VLAN 設定	31
5.3.1 VLAN IP 設定	32
5.4 有線 LAN ポート設定	33
5.5 IPv4 ファイアウォール設定	34
5.5.1 MAC フィルタリング設定	34
5.5.2 URL フィルタリング設定	35
5.5.3 ルーター宛フィルタリング設定	36
5.5.4 ルーター通過フィルタリング設定	38
5.5.5 ポートマッピング設定	40
6 無線 LAN 設定	42
6.1 無線 LAN (5GHz)	42
6.1.1 基本設定	42
6.1.2 マルチ SSID 設定	44
6.1.2.1 無線 LAN 接続クライアント表示	46
6.1.3 セキュリティ設定	47
6.1.3.1 暗号モード WEP	48
6.1.3.2 暗号モード WPA/WPA2/WPA-Mixed (事前共有キー)	49
6.1.3.3 暗号モード WPA/WPA2/WPA-Mixed (RADIUS 認証)	50

6.1.4	拡張設定	51
6.1.5	アクセス制御設定	52
6.1.6	スケジュール設定	53
6.1.7	サイトサーベイ	54
6.2	無線 LAN (2.4GHz)	55
6.2.1	基本設定	55
6.2.2	マルチ SSID 設定	57
6.2.2.1	無線 LAN 接続クライアント表示	59
6.2.3	セキュリティ設定	60
6.2.3.1	暗号モード WEP	61
6.2.3.2	暗号モード WPA/WPA2/WPA-Mixed (事前共有キー)	62
6.2.3.3	暗号モード WPA/WPA2/WPA-Mixed (RADIUS 認証)	63
6.2.4	拡張設定	64
6.2.5	アクセス制御設定	65
6.2.6	スケジュール設定	66
6.2.7	サイトサーベイ	67
7	システム管理	68
7.1	パケット送受信量 統計	68
7.2	システムモニタ	69
7.3	時刻情報設定	70
7.4	DoS 検知・防御設定	71
7.5	ネットワークユーティリティ	72
7.6	システムログ	73
7.7	ファームウェアバージョンアップ	74
7.8	設定保存・読み込み・初期化	75
7.9	ユーザー・パスワード設定	76
7.10	HTTPS リダイレクト設定	77
7.11	iOS Captive Portal 設定	78
7.12	ローカル再起動時刻設定	79
8	再起動とログアウト	80
9	付録	81
9.1	設定例 - VLAN 設定 (ネットワークを分離するケース)	81
9.2	設定例 - VLAN 設定 (Trunk ポート設定を利用するケース)	83
9.3	工場出荷値一覧	88
9.4	入力・登録制限値一覧	90
9.5	製品仕様	91
9.6	筐体寸法	94
9.7	トラブルシューティング/Q&A 集	95

安全にお使い頂くために

— ご注意 —

- 本機の故障、誤動作、不具合あるいは天災や停電等の外的要因によって、通信の機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失、及び誤った設定を行ったために生じた損害賠償につきまして、当社は一切その責任を負いません。
- 通信内容の漏洩や改ざん等による精神的損害・純粋経済損失につきまして、当社は一切その責任を負いません。
- 本機は日本国内向け技術基準適合証明のみ取得しておりますので、海外では利用できません。

— 無線 LAN に関する注意事項（2.4GHz 帯使用の無線機器について） —

本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器の他、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して、電波干渉の事例が発生した場合には、通信環境・設置環境（混信回避のための処理、パーティションの設置等）をご確認下さい。
- 本機を医療機器や心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している人の近くで使用しないで下さい。医療機器の誤動作の原因となります。
- 本機を電子レンジの近くで使用しないで下さい。
電子レンジ使用時、電磁波の影響によって本機の無線通信が妨害される恐れがあります。
- 本機の電波の種類と干渉距離については下記の通りです。



- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示します。
- DS/OF : DS-SS 方式、及び OFDM 方式を示します。
- 4 : 想定される干渉距離が 40m 以下を示します。
- ■ ■ : 全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能なことを示します。

— 無線 LAN に関する注意事項（5GHz 帯使用の無線機器について） —

- 5. 2/5. 3GHz 帯域を屋外で使用することは、電波法によって禁止されています。

—お取り扱い上のご注意—

安全に正しくお使い頂き、お客様や財産への損害を防ぐために、以下のマークの記されている項目を必ずお守り下さい。

！警告

取り扱いを誤った場合、人が死亡あるいは重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

！注意

取り扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

！警告

- 極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器、電算機システム、医療システム等）では使用しないで下さい
- 本機を医療機器や心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している人の近くで使用しないで下さい。医療機器の誤動作の原因となります。
- 落雷の恐れがある場合は本機の使用を直ちに中止し、接続されているケーブルを取り外して下さい。落雷により本機及び本機が接続されている機器の故障、発煙、発火の可能性があります。なお、落雷等の天災による故障の場合、保障期間内であっても有償修理となりますので、あらかじめご了承下さい。
- 本機から煙が出たり異臭が発生した場合等、異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。その際は電源を切り、煙が出なくなる、もしくは異臭が消えることを確認した後、当社へご連絡下さい。
- 濡れた手で本機及び電源アダプターの操作や接続作業を行わないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源アダプターは必ず付属のものを使用し、それ以外のは絶対に使用しないで下さい。火災、故障の原因となります。
- 電源アダプターのコードを傷つけたり、無理な力を加えたり、ものを乗せたりしないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源アダプターのプラグとコンセントの間のほこりは定期的（半年に1回程度）に取り除いて下さい。そのまま放置すると火災の原因となります。
- 電源アダプターを抜き差しする時は、必ず電源アダプター本体を持って行って下さい。電源アダプターのコードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電の原因となります。
- AC100V の家庭用・商用電源以外では使用しないで下さい。また、たこ足配線をしないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- 本機を分解・改造しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。また、故障した場合、保証期間内であっても保証を受けられなくなります。
- 本機の近くに花瓶や植木鉢、コップ、化粧品、薬品等の液体が入った容器、小さな金属等を置かないで下さい。これらの異物が本製品の内部に混入した場合、火災、感電、故障の原因となります。また、本機の内部に水や金属等の異物が混入した場合、すぐに本製品の電源を OFF にし、販売元へご連絡下さい。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

！注意

- 本機を不安定な場所に設置したり、本機の上にものを置かないで下さい。バランスが崩れて倒れたり、落下してケガや本機の故障の原因となります。
- 本機は屋内用として開発されております。屋外へ設置しないで下さい。雨やほこり等により故障、破損の原因となります。
- 本機を調理台の近く等、油飛びや湯気のあたるような場所、及びごみやほこりの多い場所に設置しないで下さい。故障、破損の原因となります。
- 本機を高温多湿な場所、直射日光の当たる場所、炎天下の車内、熱器具や加湿器の近くで設置・保管・放置しないで下さい。火災、故障、破損の原因となります。
- 本機の動作中は本機内部及び外側が熱くなることがあります。本機のそばにビニール等、熱により溶けやすいものを置かないで下さい。火災、故障、破損の原因となります。
- 本機を他の機器の上に設置しないで下さい。変色、変形の原因となります。
- 本機の通気孔をふさいだり、重ねて設置しないで下さい。火災、故障、破損の原因となります。
- 本機を温度差の激しいところや、結露するような場所へ設置しないで下さい。故障の原因となります。
- 本機を長期間ご使用にならないときは、電源アダプターをコンセントから外し、本機に接続されている各種ケーブルを外して下さい。
- 本機を長期間無人で使用する際は、必ず定期的に保守/点検を行って下さい。

！注意

- 本機の上に乗らないで下さい。本機が破損し、ケガや感電の原因となります。
- 本機背面の各コネクタに異物を挿入しないで下さい。感電、火災、故障の原因となります。

—無線 LAN のセキュリティについて—

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えて全ての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる。
悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、
 - ・ID やパスワード
 - ・クレジットカード番号等の個人情報
 - ・メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される。
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
 - ・個人情報や機密情報を取り出す。(情報漏洩)
 - ・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す。(なりすまし)
 - ・傍受した通信内容を書き換えて発信する。(改ざん)
 - ・コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する。(破壊)等の行為をされてしまう可能性があります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、適宜、セキュリティに関する設定を行い、本機を使用して下さい。

—その他 無線 LAN に関する留意事項—

- 無線 LAN が使用する電波は、一般家屋で使用されている木材やガラス等は通過しますが、金属は通過しません。コンクリートの壁でも内部に金属補強材が使われている場合は通過しません。
- ビル内等の比較的広いフロアであっても、フロア内に金属製パーティション等の遮蔽物がある場合、通信できないことがあります。
- 本機を使用することにより、テレビ、ラジオ、携帯電話等に雑音が入る場合、以下のように対処して下さい。
 - ・本機の設置場所を変える。
 - ・雑音が入る機器と本機の距離を離す。
 - ・雑音が入る機器と本機の電源を、それぞれ別の場所から取る。
- 通信速度は無線 LAN 規格で定められたデータ通信速度の最大値であり、実際のデータ通信速度（実効値）ではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や通信速度は、使用環境や周辺環境により大きく変動します。

—電波障害に関する自主規制について—

本機はクラス A 情報技術装置です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

—商標について—

- 以下の製品名は米国 Microsoft Corporation の米国、及びその他の国における商標です。
Microsoft^(R) Windows^(R) 7 Operating System
Microsoft^(R) Windows^(R) 8 Operating System
Microsoft^(R) Windows^(R) 10 Operating System
- その他、記載の会社名、及び製品名は各社の商標または登録商標です。

—その他—

- 本機の仕様や外観、内部のソフトウェア（ファームウェア）については、改良のため予告無しに変更することがあります。
- 本書の内容については、将来予告無く変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡下さい。

1 はじめに

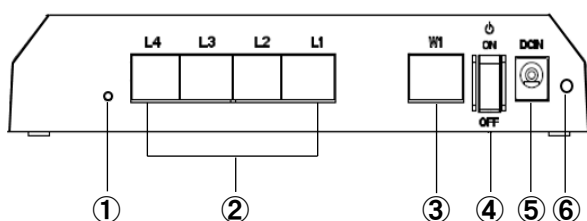
1.1 製品の特長

本機は IPv4 over IPv6 通信に対応した無線 LAN アクセスポイント/ルーターです。
本機は以下のような特長があります。

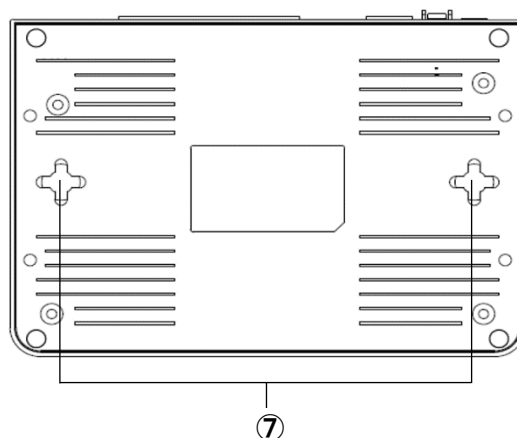
- IPv4 over IPv6 対応（株式会社朝日ネットが提供する v6 コネクトに対応）
- クアッドコア CPU 1.3GHz を搭載したハイスペック仕様
- 無線 LAN アンテナ内蔵のコンパクト設計
- PoE 対応（WAN 側ポート受電対応）

1.2 各部の名称と機能

本機背面

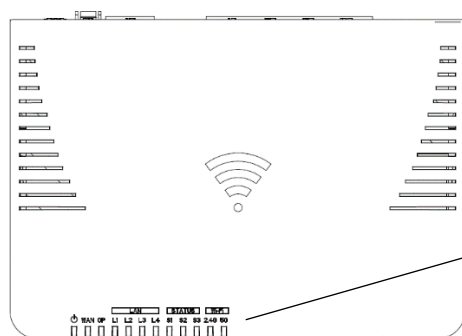


本機底面

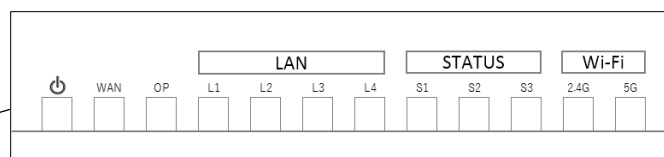


番号	名称	機能
①	リセットスイッチホール	本機の設定を工場出荷値に戻す場合、本機の電源が ON の状態で、細い棒等で本ボタンを 10 秒以上長押しして下さい。全 LED が 2～3 秒点灯した後初期化が開始します。
②	L1～L4	有線 LAN ポートです。
③	W1	有線 WAN ポートです。
④	電源スイッチ	電源の ON/OFF をします。
⑤	DC IN	電源アダプタを接続する差込口です。
⑥	ケーブルクランプホール	付属の電源ケーブル用クランプを取り付ける穴です。
⑦	壁掛け用ネジ穴	壁掛け用のネジ穴です。ネジはお客様準備になります。

本機上面



LED 表示

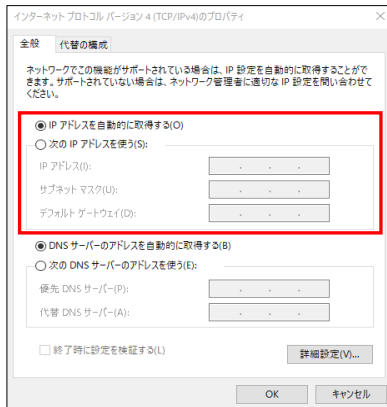


LED	機能	状態	内容
🔌	電源	消灯	本機に電力が供給されていない
		点灯	本機に電力が供給されている
WAN	WAN ポート	消灯	WAN ポートのリンクが確立していない
		点灯	WAN ポートのリンクが確立している
		点滅	WAN ポートで通信中
OP	AP モード	消灯	ルーターモードで動作している
		点灯	AP モードで動作している
L1~L4	LAN ポート	消灯	LAN ポートのリンクが確立していない
		点灯	LAN ポートのリンクが確立している
		点滅	LAN ポートで通信中
S1	ステータス 1	消灯	WAN ポートで IPv4 アドレスを取得していない
		点灯	WAN ポートで IPv4 アドレスを取得している
S2	ステータス 2	消灯	WAN ポートで IPv6 アドレスを取得していない
		点灯	WAN ポートで IPv6 アドレスを取得している
S3	ステータス 3	消灯	リダイレクトサーバと通信していない
		点灯	リダイレクトサーバと通信している
2.4G	無線 2.4GHz	消灯	無線 2.4GHz の機能が無効設定
		点灯	無線 2.4GHz の機能が有効設定
		点滅	無線 2.4GHz の通信が発生中
5G	無線 5GHz	消灯	無線 5GHz の機能が無効設定
		点灯	無線 5GHz の機能が有効設定
		点滅	無線 5GHz の通信が発生中

2 Web 設定について

2.1 Web GUI へのアクセス方法

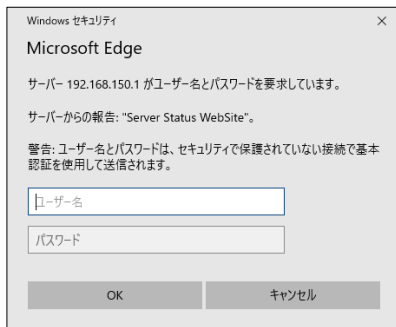
- ① 本機背面の LAN ポート(L1~L4)と設定用 PC を LAN ケーブル(RJ-45)で接続して下さい。
- ② 設定用 PC の IP アドレスを下記のように自動取得にし、DHPC を取得しているか確認してください。



- ③ PC でブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.150.1/」を入力して下さい。



- ④ 下記のようにユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを半角英数字で入力して[OK]ボタンをクリックして下さい。



【ユーザー名】 admin
【パスワード】 admin

- ⑤ 本機の設定画面(トップ画面/状態表示画面)が表示されます。



2.1.1 GUIにアクセス出来ない場合の確認事項

下記を確認して下さい。

- PCと本機背面のLANポートが、RJ-45ケーブルで正しく接続されているか確認して下さい。
- PCと接続しているLANポートのLED(L1～L4)が点灯していることを確認して下さい。
- PCが本機からのDHCPアドレス「192.168.150.30～192.168.150.254の範囲(初期値)」を取得できているか確認して下さい。

2.2 各設定ボタン動作について

設定時に利用するボタンの動作について説明いたします。

LAN設定

本機のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

IPアドレス	<input type="text" value="192.168.150.1"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
DHCPサーバー設定	
DHCPサーバー	<input type="button" value="有効"/> ▼
付与IPアドレス範囲	先頭 <input type="text" value="192.168.150.30"/> 終了 <input type="text" value="192.168.150.254"/> <input type="button" value="クライアント表示"/>
	<input type="button" value="固定IPアドレス付与設定"/>
リース期限	<input type="text" value="360"/> (15-10080分)
ホスト名	<input type="text"/>
802.1d Spanning Tree	<input type="button" value="無効"/> ▼

ボタン名称	内容
[キャンセル]	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
[保存]	入力・変更した値を保存します。 実動作へ反映する為には、[保存して再起動]を行う必要があります。
[保存して再起動]	入力・変更した値を保存した上で、再起動を実施します。 設定変更値は再起動完了後より、実動作へ反映します。

3 状態表示

本機の動作状態を表示します。

左のメニューリストから「状態表示」を選択します。

状態表示

システム・リダイレクト情報

システム情報	
システム起動時間	1 hour, 16 mins, 17 secs
ファームウェアバージョン	V1.0.5
ビルド時刻	Fri Mar 13 17:03:05 CST 2020
CPUロードアベレージ	1.08 1.04 1.05 (過去 1分 5分 15分間の負荷平均)
プロセス数	1/80 (現在のプロセス数/総プロセス数)
メモリ使用率	Total:508448 Used:85400 Free:423048 (単位: Kbytes)
NAPTセッション数	32 最大31184

リダイレクトサーバ設定

UnitName	011 001_010
サーバURL	feed001.arbitraki.com/s
サーバ接続状態	接続
HTTPSリダイレクト設定	有効
IOS Captive Portal設定	有効
リダイレクトグループ	REDIRECT2 REDIRECT3 REDIRECT4 REDIRECT5 REDIRECT6
シンフルリダイレクトグループ	
リダイレクト無効グループ	
リダイレクト未設定グループ	REDIRECT1
リモートアップデート	無効
スケジュール再起動	無効

無線LAN設定情報

無線LAN (5 GHz)ルートSSID	
無線LAN設定	有効
周波数	5GHz (80MHz)
SSID	#OS_R_5G
チャンネル番号	52
セキュリティ	無効
BSSID	98:2D:BA:5D:04:63
接続中のクライアント数	0

WAN設定情報

WANポート (IPv4)

接続モード	DHCPサーバ(一からIPアドレス取得中)
IPv4アドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
MACアドレス	98:2D:BA:5D:04:5D

WANポート (IPv6)

接続モード	v6 コネクト 接続中
アクティベーション状態	手動設定
IPv6アドレス - IPoE	
IPv6アドレス - v6 コネクト	
IPv6 デフォルトゲートウェイ	
MACアドレス	98:2D:BA:5D:04:5D

LAN設定情報

LANポート (グループ0)

所属インタフェース	LAN1, LAN2, LAN3, LAN4, WLAN0, WLAN0_VAP0, WLAN0_VAP1, WLAN0_VAP2, WLAN0_VAP3, WLAN1, WLAN1_VAP0, WLAN1_VAP1, WLAN1_VAP2, WLAN1_VAP3
VLAN ID	
LAN IPアドレス	192.168.150.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバ	有効

■ システム情報

システム情報	
システム起動時間	6 mins, 42 secs
ファームウェアバージョン	V1.0.5
ビルド時刻	Wed Mar 18 14:55:27 CST 2019
CPUロードアベレージ	1.00 0.76 0.36 (過去 1分 5分 15分間の負荷平均)
プロセス数	1/91 (現在のプロセス数/総プロセス数)
メモリ使用率	Total:508444 Used:90160 Free:418284 (単位: Kbytes)
NAPTセッション数	42 最大31184

項目	内容
システム起動時間	本機が起動してからの経過時間を表示します。
ファームウェアバージョン	ファームウェアバージョンを表示します。
ビルド時刻	ファームウェアの作成時刻を表示します。
CPU ロードアベレージ	過去1分/5分/15分間のCPU 負荷とI/O 使用率の指標を表示します。
プロセス数	現在、実行されているプロセス数とプロセス総数を表示します。
メモリ使用率	総メモリ容量(Total)、使用中メモリ容量(Used)、空きメモリ容量(Free)を表示します。
NAPT セッション数	現在、使用されている NAPT セッション数(IP アドレス変換処理数)を表示します。

■ リダイレクトサーバ設定

リダイレクトサーバ設定	
UnitName	REDIRECT_0708
サーバURL	https://redirect0708.com
サーバ接続状態	接続
HTTPSリダイレクト設定	有効
iOS Captive Portal設定	有効
リダイレクトグループ	REDIRECT2 REDIRECT3 REDIRECT4 REDIRECT5 REDIRECT6
シンプルリダイレクトグループ	
リダイレクト無効グループ	
リダイレクト未設定グループ	REDIRECT1
リモートアップデート	有効 曜日: 月 時刻: 03:45
スケジュール再起動	有効 曜日: 月 時刻: 04:00

項目	内容
UnitName	本機の UnitName を表示します。
サーバ URL	接続先リダイレクトサーバの URL を表示します。
サーバ接続状態	本機とリダイレクトサーバとの接続状態を表示します。
HTTPS リダイレクト設定	HTTPS リダイレクト設定の動作(無効/有効)を表示します。
iOS Captive Portal 設定	iOS Captive Portal 設定の動作(無効/有効)を表示します。
リダイレクトグループ	リダイレクト設定が ON のグループを表示します。
シンプルリダイレクトグループ	シンプルリダイレクトが ON のグループを表示します。
リダイレクト無効グループ	リダイレクト動作が無効になっているグループを表示します。
リダイレクト未設定グループ	リダイレクト設定が OFF になっているグループを表示します。
リモートアップデート	リモートアップデート機能の動作(無効/有効・設定日時)を表示します。
スケジュール再起動	スケジュール再起動の動作(無効/有効・設定日時)を表示します。

■ 無線 LAN(5GHz)ルート SSID

無線LAN (5 GHz)ルートSSID	
無線LAN設定	有効
周波数	5GHz (a+n+ac)
SSID	RootSSID_5Ghz
チャンネル番号	52
セキュリティ	無効
BSSID	98:2D:BA:5D:04:63
接続中のクライアント数	0

項目	内容
無線 LAN 設定	無線 LAN 機能の動作(無効/有効)を表示します。
周波数	無線 LAN の周波数を表示します。
SSID	無線 LAN の SSID を表示します。
チャンネル番号	無線 LAN のチャンネル番号を表示します。
セキュリティ	無線 LAN のセキュリティ(暗号化等)を表示します。
BSSID	無線 LAN インタフェースの BSSID(MAC アドレス)を表示します。
接続中のクライアント数	無線 LAN インタフェースに接続中のクライアント数を表示します。

■ 無線 LAN(5GHz)マルチ SSID1~4

無線LAN (5 GHz)マルチSSID1	
無線LAN設定	有効
SSID	MultiSSID1_5Ghz
セキュリティ	無効
BSSID	98:2D:BA:5D:04:64
接続中のクライアント数	0

項目	内容
無線 LAN 設定	無線 LAN 機能の動作(無効/有効)を表示します。
SSID	無線 LAN の SSID を表示します。
セキュリティ	無線 LAN のセキュリティ(暗号化等)を表示します。
BSSID	無線 LAN インタフェースの BSSID(MAC アドレス)を表示します。
接続中のクライアント数	無線 LAN インタフェースに接続中のクライアント数を表示します。

■ 無線 LAN(2.4GHz)ルート SSID

無線LAN (2.4 GHz)ルートSSID	
無線LAN設定	有効
周波数	2.4GHz (b+g+n)
SSID	RootSSID_2.4Ghz
チャンネル番号	1
セキュリティ	無効
BSSID	98:2D:BA:5D:04:5E
接続中のクライアント数	0

項目	内容
無線 LAN 設定	無線 LAN 機能の動作(無効/有効)を表示します。
周波数	無線 LAN の周波数を表示します。
SSID	無線 LAN の SSID を表示します。
チャンネル番号	無線 LAN のチャンネル番号を表示します。
セキュリティ	無線 LAN のセキュリティ(暗号化等)を表示します。
BSSID	無線 LAN インタフェースの BSSID(MAC アドレス)を表示します。
接続中のクライアント数	無線 LAN インタフェースに接続中のクライアント数を表示します。

■ 無線 LAN(2.4GHz)マルチ SSID1~4

無線LAN (2.4 GHz)マルチSSID1	
無線LAN設定	有効
SSID	MultiSSID1_2.4Ghz
セキュリティ	無効
BSSID	98:2D:BA:5D:04:5F
接続中のクライアント数	0

項目	内容
無線 LAN 設定	無線 LAN 機能の動作(無効/有効)を表示します。
SSID	無線 LAN の SSID を表示します。
セキュリティ	無線 LAN のセキュリティ(暗号化等)を表示します。
BSSID	無線 LAN インタフェースの BSSID(MAC アドレス)を表示します。
接続中のクライアント数	無線 LAN インタフェースに接続中のクライアント数を表示します。

■ WAN ポート(IPv4)

DHCP クライアントモード時の表示

WANポート (IPv4)	
接続モード	DHCPクライアント
IPv4アドレス	192.168.10.36
サブネットマスク	255.255.255.0
IPv4 デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1
MACアドレス	98:2D:BA:50:10:FD

IP アドレス固定モード時の表示

WANポート (IPv4)	
接続モード	IPアドレス固定設定 接続中
IPv4アドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
IPv4 デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254
MACアドレス	98:2D:BA:50:10:FD

PPPoE クライアントモード時の表示

WANポート (IPv4)	
接続モード	PPPoE 接続中
IPv4アドレス	128.149.110.0
サブネットマスク	255.255.255.255
IPv4 デフォルトゲートウェイ	128.149.110.123
MACアドレス	98:2D:BA:50:10:FD

項目	内容
接続モード	WAN 側の IPv4 接続モードを表示します。
IPv4 アドレス	WAN 側の IPv4 アドレスを表示します。
サブネットマスク	WAN 側のサブネットマスクを表示します。
IPv4 デフォルトゲートウェイ	WAN 側のデフォルトゲートウェイを表示します。
MAC アドレス	WAN 側ポートの MAC アドレスを表示します。

■ WAN ポート(IPv6) v6 コネクトモード時の表示

WANポート (IPv6)	
接続モード	v6 コネクト 接続中
アクティベーション状態	完了
IPv6アドレス - IPoE	2408:8100:a00:2007::baff:fe5d:451/64
IPv6アドレス - v6 コネクト	2001:8001::9d6b:2a56:0/128
IPv6 デフォルトゲートウェイ	fe00::2001::fe19:a4c6
MACアドレス	98:2D:BA:5D:04:51

項目	内容
接続モード	WAN 側の IPv6 接続モードを表示します。
アクティベーション状態	未完了 :v6 コネクトの設定情報の取得が完了していない状態。
	完了 :v6 コネクトの設定情報の取得が完了している状態。
	手動設定 :v6 コネクトの設定情報を手動設定している状態。
	エラー :v6 コネクトの設定情報の取得に失敗している状態。
IPv6 アドレス-IPoE	WAN 側の IPoE で接続している IPv6 アドレスを表示します。
IPv6 アドレス-v6 コネクト	WAN 側の v6 コネクトで接続している IPv6 アドレスを表示します。
IPv6 デフォルトゲートウェイ	WAN 側の IPv6 デフォルトゲートウェイを表示します。
MAC アドレス	WAN 側ポートの MAC アドレスを表示します。

■ LAN ポート

LANポート (グループ0)	
所属インタフェース	LAN1, LAN2, LAN3, LAN4, WLAN0, WLAN0_VAP0, WLAN0_VAP1, WLAN0_VAP2, WLAN0_VAP3, WLAN1, WLAN1_VAP0, WLAN1_VAP1, WLAN1_VAP2, WLAN1_VAP3
VLAN ID	
LAN IPアドレス	192.168.150.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効
MACアドレス	98:2D:BA:5D:04:5C

項目	内容
所属インタフェース	各グループに所属している LAN インタフェースを表示します。
VLAN ID	VLAN ID を表示します。
LAN IP アドレス	LAN 側の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	LAN 側のサブネットマスクを表示します。
DHCP サーバー	DHCP サーバーの動作(無効/有効)を表示します。
MAC アドレス	LAN 側ポートの MAC アドレスを表示します。

4 動作モード

本機の動作モードの設定を行います。

左のメニューリストから「動作モード」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1300W設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
- 無線LAN設定
- システム管理
- 再起動
- ログアウト

動作モード設定

本機の動作モードを設定します。

ルーター
本機をルーターとして利用します。
NAPT (IPアドレス変換) 機能が有効となります。
プロバイダへの接続設定は「ネットワーク設定」の「WAN設定」で行って下さい。

アクセスポイント
本機を無線LANアクセスポイントとして利用します。
NAPT (IPアドレス変換) 機能など、ルーター機能が無効となります。
WANポート、LANポートともにHUBとして動作します。

キャンセル 保存して再起動

項目	内容
ルーター	ルーターとして動作します。
アクセスポイント	アクセスポイントとして動作します。ルーター機能は無効となります。

各動作モード時に有効となる機能一覧になります。

機能	ルーターモード	アクセスポイントモード
状態表示機能	○	○
動作モード設定機能	○	○
ネットワーク設定		
LAN 設定機能	○	○
WAN 設定機能	○	×
VLAN 設定機能	○	○
有線 LAN ポート設定機能	○	○
IPv4 ファイアウォール設定		
MAC フィルタリング機能	○	×
URL フィルタリング機能	○	×
ルーター宛フィルタリング機能	○	○
ルーター通過フィルタリング機能	○	×
ポートマッピング機能	○	×
無線 LAN 設定		
無線 LAN (5GHz) 設定機能	○	○※1
無線 LAN (2.4GHz) 設定機能	○	○※1
システム管理		
パケット送受量 統計表示機能	○	○
システムモニタ機能	○	○
時刻情報設定機能	○	○
Dos 検知・防御設定機能	○	×
ネットワークユーティリティ機能	○	○
システムログ機能	○	○
ファームウェアバージョンアップ機能	○	○
設定保存・読み込み・初期化機能	○	○
HTTPS リダイレクト設定機能	○	×
iOS Captive Portal 設定	○	×
ローカル再起動時刻機能	×	○

※1:無線 LAN の送受信速度制限機能は、ルーターモード時のみ利用可能です。

5 ネットワーク設定

本機のネットワーク設定を行います。

5.1 LAN 設定

本機の LAN 設定を行います。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「LAN 設定」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1300W設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
 - LAN設定**
 - WAN設定
 - VLAN設定
 - 有線LANポート設定
- IPv4ファイアウォール設定
- 無線LAN設定
- システム管理
 - 再起動
 - ログアウト

LAN設定

本機のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

IPアドレス	<input type="text" value="192.168.150.1"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
DHCPサーバー設定	
DHCPサーバー	<input type="text" value="有効"/>
付与IPアドレス範囲	先頭 <input type="text" value="192.168.150.30"/> 終了 <input type="text" value="192.168.150.254"/> <input type="button" value="クライアント表示"/>
	<input type="button" value="固定IPアドレス付与設定"/>
リース期限	<input type="text" value="360"/> (15-10080 分)
ホスト名	<input type="text"/>
802.1d Spanning Tree	<input type="text" value="無効"/>

項目	内容
IP アドレス	本機の LAN 側の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	本機の LAN 側のサブネットマスクを設定します。
DHCP サーバー設定	
DHCP サーバー	本機の DHCP サーバーの動作(無効/有効)を選択します。
付与 IP アドレス範囲	前項において「有効」が選択された場合に、DHCP サーバーが付与する IP アドレスの範囲(開始 IP アドレスと終了 IP アドレス)を設定します。
クライアント表示	DHCP サーバーから IP アドレスを取得しているクライアントの情報を表示します。
固定 IP アドレス付与設定	DHCP サーバー 固定 IP アドレス付与設定画面を表示します。
リース期限	付与する IP アドレスのリース期限を設定します。
ホスト名	付与するホスト名を設定します。
802.1d Spanning Tree	802.1d Spanning Tree の動作(無効/有効)を選択します。

5.1.1 DHCP サーバーのクライアント表示

DHCP サーバーから IP アドレスを取得しているクライアントの情報を表示します。
前項画面の「LAN 設定」内の「クライアント表示」ボタンをクリックします。

LAN設定

本機のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

IPアドレス	<input type="text" value="192.168.150.1"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
DHCPサーバー設定	
DHCPサーバー	<input type="text" value="有効"/>
付与IPアドレス範囲	先頭 <input type="text" value="192.168.150.30"/>
	終了 <input type="text" value="192.168.150.254"/>
	<input type="button" value="クライアント表示"/>
	<input type="button" value="固定IPアドレス付与設定"/>
リース期限	<input type="text" value="360"/> (15-10080 分)
ホスト名	<input type="text"/>
802.1d Spanning Tree	<input type="text" value="無効"/>



接続中のDHCPクライアント

本機のDHCPサーバーからIPアドレスを取得したDHCPクライアントの情報を表示します。

ホスト名	MACアドレス	IPアドレス	リース期限残	クライアントOS
PC1329N	54:E1:AD:05:61:3A	192.168.150.30	03h : 59m : 38s	

項目	内容
ホスト名	クライアントに設定されているホスト名を表示します。
MAC アドレス	クライアントの MAC アドレスを表示します。
IP アドレス	クライアントが DHCP サーバーから取得した IP アドレスを表示します。
リース期限残	DHCP リース期限の残り時間を表示します。
クライアント OS	クライアントの OS が表示されます。※1

※1: クライアント側の仕様により OS が表示されない場合があります

5.1.2 固定 IP アドレス付与設定

クライアントの MAC アドレス情報によって、常に同じ IP アドレス(固定 IP アドレス)を付与するための設定を行います。

前項画面の「LAN 設定」内の「固定 IP アドレス付与設定」ボタンをクリックします。

LAN設定

本機のLAN制IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

IPアドレス: 192.168.150.1
サブネットマスク: 255.255.255.0

DHCPサーバー設定

DHCPサーバー: 有効
付与IPアドレス範囲: 先頭 192.168.150.30 終了 192.168.150.254 クライアント表示

リース期限: 360 (15-10080 分)
ホスト名:

802.1d Spanning Tree: 無効

キャンセル 保存 保存して再起動

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与設定

本機のDHCPサーバーが特定の端末に対して、常に同じIPアドレスを付与するための設定を行います。

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与を有効にする

IPアドレス:
MACアドレス: (入力形式: xxxxxxxxxxxx)
コメント:

キャンセル 保存 保存して再起動

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与リスト (20エントリーまで登録可能)

リスト	IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
選択したエントリーを削除 全て削除				

項目	内容
DHCP サーバー固定 IP アドレス付与を有効にする	固定 IP アドレス付与を有効にする場合にチェックを入れます。
IP アドレス	付与する IP アドレスを設定します。
MAC アドレス	固定 IP アドレスを付与する対象 MAC アドレスを設定します。
コメント	登録する MAC アドレスに関する情報を設定します。(任意)

【設定】

IP アドレス、MAC アドレス、コメント入力後、〔保存〕ボタンをクリックすると、リストへ登録されます。設定と同時に反映する場合は、〔保存して再起動〕ボタンをクリックします。

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与設定

本機のDHCPサーバーが特定の端末に対して、常に同じIPアドレスを付与するための設定を行います。

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与を有効にする

IPアドレス: 192.168.150.31
MACアドレス: 00:00:5e:00:53:00 (入力形式: xxxxxxxxxxxx)
コメント: example1

キャンセル 保存 保存して再起動

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与リスト (20エントリーまで登録可能)

リスト	IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
選択したエントリーを削除 全て削除				

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与設定

本機のDHCPサーバーが特定の端末に対して、常に同じIPアドレスを付与するための設定を行います。

本ページで設定が変更されました。
変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与を有効にする

IPアドレス:
MACアドレス: (入力形式: xxxxxxxxxxxx)
コメント:

キャンセル 保存 保存して再起動

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与リスト (20エントリーまで登録可能)

リスト	IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
1	192.168.150.31	00:00:5e:00:53:00	example1	<input type="checkbox"/>

選択したエントリーを削除 全て削除

5.2 WAN 設定

本製品の WAN ポート側に接続する回線・ネットワークを設定します。
左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「WAN 設定」を選択します。

- IPv4 WAN 設定（DHCP クライアントモード時の表示）

The screenshot shows the 'IPv4 WAN設定' (IPv4 WAN Settings) page. The left sidebar contains a navigation menu with 'IPv4設定' (IPv4 Settings) selected. The main content area has the title 'IPv4 WAN設定' and a sub-header 'WAN側接続モードの設定を行います。' (Configure WAN connection mode). Below this is a note: 'プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。' (Please confirm the contract content with the provider and service provider before setting). The configuration fields include: 'WAN接続モード' (WAN connection mode) set to 'DHCPクライアント' (DHCP Client); 'ホスト名' (Host name) with an empty text box; 'MTU Size' set to '1492' (with a note '(1400-1500 bytes)'); 'DNS自動取得' (DNS automatic acquisition) selected; 'DNS固定設定' (DNS fixed setting) unselected; 'プライマリDNS' (Primary DNS) and 'セカンダリDNS' (Secondary DNS) with empty text boxes; 'UPnPを有効にする' (Enable UPnP) checked; 'IGMP Proxyを有効にする' (Enable IGMP Proxy) unselected; 'WAN側からのPingに応答を返す' (Respond to ping from WAN side) unselected; 'WAN側から設定画面へのログオンを許可する' (Allow login from WAN side) unselected; 'L2TPパススルーを有効にする' (Enable L2TP passthrough) checked; 'IPSecパススルーを有効にする' (Enable IPSec passthrough) checked; and 'PPTPパススルーを有効にする' (Enable PPTP passthrough) checked. At the bottom are buttons for 'キャンセル' (Cancel), '保存' (Save), and '保存して再起動' (Save and Restart).

- IPv6 WAN 設定（v6 コネクトモード時の表示）

The screenshot shows the 'IPv6 WAN設定' (IPv6 WAN Settings) page. The left sidebar contains a navigation menu with 'IPv6設定' (IPv6 Settings) selected. The main content area has the title 'IPv6 WAN設定' and a sub-header 'WAN側接続モードの設定を行います。' (Configure WAN connection mode). Below this is a note: 'プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。' (Please confirm the contract content with the provider and service provider before setting). The configuration fields include: 'WAN接続モード' (WAN connection mode) set to 'v6 コネクト' (v6 Connect); 'プロビジョニング' (Provisioning) selected; '手動設定モード' (Manual setting mode) unselected; 'トンネルID' (Tunnel ID) with an empty text box; 'センタ側のエンドポイントのIPv6アドレス' (IPv6 address of the center-side endpoint) with an empty text box; 'クライアント側エンドポイントのIPv6アドレス・インタフェースID' (IPv6 address and interface ID of the client-side endpoint) with an empty text box; 'クライアント側のグローバルIPv4アドレス' (Global IPv4 address of the client-side) with an empty text box; 'アドレス変更通知に使用する通知キー' (Notification key for address change notification) with an empty text box; and 'アドレス変更通知に使用する通知パスワード' (Notification password for address change notification) with an empty text box. At the bottom are buttons for 'キャンセル' (Cancel), '保存' (Save), and '保存して再起動' (Save and Restart).

5.2.1 IPv4 設定 WAN 接続モード DHCP クライアント

「WAN 接続モード」で「DHCP クライアント」を選択します。

IPv4 WAN設定

WAN側接続モードの設定を行います。

プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。

WAN接続モード DHCPクライアント ▼

ホスト名

MTU Size (1400-1500 bytes)

DNS自動取得
 DNS固定設定

プライマリDNS

セカンダリDNS

UPnPを有効にする
 IGMP Proxyを有効にする
 WAN側からのPingに応答を返す
 WAN側から設定画面へのログオンを許可する
 L2TPパススルーを有効にする
 IPsecパススルーを有効にする
 PPTPパススルーを有効にする

項目	内容
WAN 接続モード	「DHCP クライアント」を選択します。
ホスト名	プロバイダとの契約資料や、既存 LAN の環境において、ホスト名の設定が必要な場合にのみ設定します。
MTU Size	MTU を設定します。通常、変更する必要はありません。値を変更する場合はプロバイダへ確認して頂くか、既存の LAN 環境に合わせて設定して下さい。
DNS 自動取得／DNS 固定設定	プロバイダとの契約資料や、既存 LAN の環境に合わせて設定します。「DNS 固定設定」を選択した場合は、「プライマリDNS」「セカンダリDNS」を設定します。
UPnP を有効にする	UPnP を有効にする場合にチェックを入れます。
IGMP Proxy を有効にする	IGMP Proxy を有効にする場合にチェックを入れます。
WAN 側からの Ping に応答を返す	WAN(インターネット)側からの Ping に応答を返す場合にチェックを入れます。 ※1
WAN 側から設定画面へのログオンを許可する	WAN 側から設定画面へのログオンを許可する場合にチェックを入れます。 ※1
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
IPsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2

- ※1:これらの設定は、本画面ではチェックなし(無効)となっていますが、ルーター宛フィルタリング設定にて、特定IPアドレスのみ許可することができます。
- ※2:VPN パススルーを有効にしても、ルーター通過フィルタリング設定において関連する通信(IPSec パススルー UDP500 番、PPTP パススルーTCP1723 番、L2TP パススルー UDP1701 番)を遮断するエントリを登録した場合、VPN パススルーは機能しません。(ルーター通過フィルタリング設定が優先されます。)

5.2.2 IPv4 設定 WAN 接続モード PPPoE クライアント

「WAN 接続モード」で「PPPoE クライアント」を選択します。

IPv4 WAN設定

WAN側接続モードの設定を行います。

プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。

WAN接続モード PPPoEクライアント ▼

ユーザー名

パスワード

パスワード (再入力)

MTU Size (1360-1492 bytes)

DNS自動取得
 DNS固定設定

プライマリDNS

セカンダリDNS

UPnPを有効にする
 IGMP Proxyを有効にする
 WAN側からのPingに応答を返す
 WAN側から設定画面へのログオンを許可する
 L2TPパススルーを有効にする
 IPsecパススルーを有効にする
 PPTPパススルーを有効にする

項目	内容
WAN 接続モード	「PPPoE クライアント」を選択します。
ユーザー名	プロバイダとの契約資料を参照して設定します。
パスワード	
MTU Size	MTU を設定します。通常、変更する必要はありません。値を変更する場合はプロバイダへ確認して頂くか、既存の LAN 環境に合わせて設定して下さい。
DNS 自動取得／DNS 固定設定	プロバイダとの契約資料や、既存LANの環境に合わせて設定します。「DNS 固定設定」を選択した場合は、「プライマリDNS」「セカンダリDNS」を設定します。
UPnP を有効にする	UPnP を有効にする場合にチェックを入れます。
IGMP Proxy を有効にする	IGMP Proxy を有効にする場合にチェックを入れます。
WAN 側からの Ping に応答を返す	WAN(インターネット)側からの Ping に応答を返す場合にチェックを入れます。 ※1
WAN 側から設定画面へのログオンを許可する	WAN 側から設定画面へのログオンを許可する場合にチェックを入れます。 ※1
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
IPsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2

- ※1:これらの設定は、本画面ではチェックなし(無効)となっていますが、ルーター宛フィルタリング設定にて、特定IPアドレスのみ許可することができます。
- ※2:VPN パススルーを有効にしても、ルーター通過フィルタリング設定において関連する通信(IPSec パススルー UDP500 番、PPTP パススルーTCP1723 番、L2TP パススルー UDP1701 番)を遮断するエントリを登録した場合、VPN パススルーは機能しません。(ルーター通過フィルタリング設定が優先されます。)

5.2.3 IPv4 設定 WAN 接続モード IP アドレス固定

「WAN 接続モード」で「IP アドレス固定」を選択します。

IPv4 WAN設定

WAN側接続モードの設定を行います。

プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。

WAN接続モード IPアドレス固定 ▼

IPアドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

MTU Size (1400-1500 bytes)

プライマリーDNS

セカンダリーDNS

UPnPを有効にする

IGMP Proxyを有効にする

WAN側からのPingに応答を返す

WAN側から設定画面へのログオンを許可する

L2TPパススルーを有効にする

IPsecパススルーを有効にする

PPTPパススルーを有効にする

項目	内容
WAN 接続モード	「IP アドレス固定」を選択します。
IP アドレス	プロバイダとの契約資料や、既存 LAN の環境に合わせて設定します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MTU Size	MTU を設定します。通常、変更する必要はありません。値を変更する場合はプロバイダへ確認して頂くか、既存の LAN 環境に合わせて設定して下さい。
DNS 自動取得／DNS 固定設定	プロバイダとの契約資料や、既存 LAN の環境に合わせて設定します。「DNS 固定設定」を選択した場合は、「プライマリーDNS」「セカンダリーDNS」を設定します。
UPnP を有効にする	UPnP を有効にする場合にチェックを入れます。
IGMP Proxy を有効にする	IGMP Proxy を有効にする場合にチェックを入れます。
WAN 側からの Ping に応答を返す	WAN(インターネット)側からの Ping に応答を返す場合にチェックを入れます。 ※1
WAN 側から設定画面へのログオンを許可する	WAN 側から設定画面へのログオンを許可する場合にチェックを入れます。 ※1
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
IPsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2

- ※1:これらの設定は、本画面ではチェックなし(無効)となっていますが、ルーター宛フィルタリング設定にて、特定IPアドレスのみ許可することができます。
- ※2:VPN パススルーを有効にしても、ルーター通過フィルタリング設定において関連する通信(IPSec パススルー UDP500 番、PPTP パススルーTCP1723 番、L2TP パススルー UDP1701 番)を遮断するエントリを登録した場合、VPN パススルーは機能しません。(ルーター通過フィルタリング設定が優先されます。)

5.2.4 IPv6 設定 WAN 接続モード v6 コネクト

「WAN 接続モード」で「v6 コネクト」を選択します。

IPv6 WAN設定

WAN側接続モードの設定を行います。
プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。

WAN接続モード v6 コネクト ▼

プロビジョニング
 手動設定モード

トンネルID

センタ側のエンドポイントのIPv6アドレス

クライアント側エンドポイントのIPv6アドレス・インタフェースID

クライアント側のグローバルIPv4アドレス

アドレス変更通知に使用する通知キー

アドレス変更通知に使用する通知パスワード

キャンセル
保存
保存して再起動

項目	内容
WAN 接続モード	「v6 コネクト」を選択します。 ※1
プロビジョニング	プロビジョニングを有効にする場合に選択します。
手動設定モード	手動設定を有効にする場合に選択します。
トンネル ID	v6 コネクトサービス提供プロバイダとの契約資料を参照して設定します。
センタ側のエンドポイントの IPv6 アドレス	
クライアント側エンドポイントの IPv6 アドレス・インタフェース ID	
クライアント側のグローバル IPv4 アドレス	
アドレス変換通知に使用する通知キー	
アドレス変換通知に使用する通知パスワード	

※1:IPv6 設定にて v6 コネクトを設定する場合、事前にIPv4 設定にてDHCPクライアント(初期値)を設定しておく必要があります。

5.2.5 IPv6 設定 WAN 接続モード 無効

「WAN 接続モード」で「無効」を選択します。

IPv6 WAN設定

WAN側接続モードの設定を行います。
プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。

WAN接続モード 無効 ▼

キャンセル
保存
保存して再起動

項目	内容
WAN 接続モード	「無効」を選択します。 ※1

※1:IPv6 のWANモードを利用しない場合は、必ず「無効」を選択して下さい。

5.3 VLAN 設定

本機の VLAN 設定を行います。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「VLAN 設定」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1300W設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
 - LAN設定
 - WLAN設定
 - VLAN設定**
 - 有線LANポート設定
 - IPv4ファイアウォール設定
- 無線LAN設定
- システム管理
 - 再起動
 - ログアウト

VLAN設定

VLANの設定を行います。

- 同一のVLAN IDで設定されたLANポート間の通信を許可します。
- 異なるVLAN IDで設定されたLANポート間の通信を遮断します。

VLANを有効にする

VLAN ID・IPグループ 設定

インタフェース	種類	Tag	Trunk	VLAN ID(2-4094)	VLAN IPグループ
有線LAN ポート1	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	グループ0 ▼
有線LAN ポート2	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11	グループ0 ▼
有線LAN ポート3	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12	グループ0 ▼
有線LAN ポート4	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13	グループ0 ▼
無線LAN(5GHz)ルーターSSID	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0 ▼
無線LAN(5GHz)マルチSSID1	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0 ▼
無線LAN(5GHz)マルチSSID2	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0 ▼
無線LAN(5GHz)マルチSSID3	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0 ▼
無線LAN(5GHz)マルチSSID4	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0 ▼
無線LAN(2.4GHz)ルーターSSID	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0 ▼
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID1	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0 ▼
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID2	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0 ▼
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID3	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0 ▼
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID4	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0 ▼
有線WANポート1	WAN	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	--

VLAN IP設定

グループ	VLAN IP	IPアドレス	サブネットマスク	DHCPサーバー	詳細設定
グループ0	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.150.1	255.255.255.0	有効	LAN設定
グループ1	<input type="checkbox"/>	192.168.160.1	255.255.255.0	無効	IP設定
グループ2	<input type="checkbox"/>	192.168.170.1	255.255.255.0	無効	IP設定
グループ3	<input type="checkbox"/>	192.168.180.1	255.255.255.0	無効	IP設定

キャンセル 保存 保存して再起動

項目	内容
VLAN を有効にする	VLAN を有効にする場合にチェックを入れます。 ※1
VLAN ID・IP グループ設定	
インタフェース	各物理インタフェースを表示します。
種類	各物理インタフェースの種類を表示します。
Tag	対象インタフェースの Tag を有効にする場合にチェックを入れます。
Trunk	対象インタフェースの Trunk を有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
VLAN ID	対象インタフェースの VLAN ID を設定します。
VLAN IP グループ	対象インタフェースの VLAN IP グループを設定します。
VLAN IP 設定	
グループ	VLAN IP 設定対象のグループを表示します。
VLAN IP	対象グループの VLAN IP を有効にする場合にチェックを入れます。
IP アドレス	対象グループの VLAN IP の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	対象グループの VLAN IP のサブネットマスクを表示します。
DHCP サーバー	対象グループの DHCP サーバーの動作(無効/有効)を表示します。
詳細設定	対象グループの VLAN IP の設定を行う場合に、ボタンをクリックします。

※1: VLAN を有効状態から無効へ変更する場合、VLAN の設定値は初期値に戻りますので注意して下さい。

※2: Trunk を設定したインタフェースは、全ての VLAN ID との通信が許可されたインタフェースとして動作します。

Trunk を設定できるインタフェースは 1 つのみです。

5.3.1 VLAN IP 設定

各 VLAN IP グループに対する IP アドレス等の設定を行います。

VLAN IP グループは、グループ 0～3 まで設定できます。グループ 0 の VLAN IP は常に有効で IP アドレス等の情報は LAN 設定の値を利用します。

前項画面の「VLAN 設定」で VLAN を有効にするにチェックを入れた後、グループ 1 の VLAN IP にチェックを入れ [IP 設定] のボタンをクリックします。

項目	内容
グループ 1 IP アドレス	グループ 1 の IP アドレスを設定します。
グループ 1 サブネットマスク	グループ 1 のサブネットマスクを設定します。
グループ 1 DHCP サーバー設定	
DHCP サーバー	グループ 1 の DHCP サーバーの動作(無効/有効)を選択します。
付与 IP アドレス範囲	前項において「サーバー」が選択された場合に、DHCP サーバーが付与する IP アドレスの範囲(開始 IP アドレスと終了 IP アドレス)を設定します。
クライアント表示	DHCP サーバーから IP アドレスを取得しているクライアントの情報を表示します。
固定 IP アドレス付与設定	DHCP サーバー 固定 IP アドレス付与設定画面を表示します。
リース期限	付与する IP アドレスのリース期限を設定します。
ドメイン名	付与するホスト名を設定します。
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
[保存]ボタン	入力・変更した値を保存します。 実動作へ反映する為には、再起動を行う必要があります。
[閉じる]ボタン	設定画面を閉じます。

5.4 有線 LAN ポート設定

本機の有線 LAN ポートの設定を行います。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「有線 LAN ポート設定」を選択します。

有線LANポート設定

各有線ポートの動作設定、状態を表示します。
電源をOFFにすることで対象ポートを無効にすることができます。(WANはOFFにすることができません)

有線LANポート	通信レート	電源	リンク	速度
LAN1	Auto	ON	LinkUp	1000M
LAN2	Auto	ON	LinkDown	-
LAN3	Auto	ON	LinkDown	-
LAN4	Auto	ON	LinkDown	-
WAN	Auto	ON	LinkUp	1000M

キャンセル 保存 保存して再起動

項目	内容
有線 LAN ポート	LAN1～4、WAN ポートを表示します。
通信レート	各ポートの通信レートを選択します。
・ Auto	自動的に通信レートを識別します。
・ 10Base-Half-duplex	10Base 半二重通信 (固定)
・ 10Base-Full-duplex	10Base 全二重通信 (固定)
・ 100Base-Half-duplex	100Base 半二重通信 (固定)
・ 100Base-Full-duplex	100Base 全二重通信 (固定)
・ 1000Base-Full-duplex	1000Base 全二重通信 (固定)
リンク	各ポートのリンク状態(LinkUp/LinkDown)を表示します。
速度	各ポートの通信レートを表示します。

※1:「OFF」設定のポートは通信を行うことができません。LAN ケーブルを接続しても該当ポートの LED は消灯になります。
WAN ポートは「OFF」設定にすることはできません。

5.5 IPv4 ファイアウォール設定

本機の IPv4 ファイアウォール設定を行います。

5.5.1 MAC フィルタリング設定

LAN 側に接続する特定の端末について MAC アドレスをもとに WAN 側への接続を禁止する設定を行います。左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「MAC フィルタリング設定」を選択します。

No.	MACアドレス	コメント
1 <input type="checkbox"/>	00:00:5e:00:53:00	example1
2 <input type="checkbox"/>	00:00:5e:00:53:01	example2
3 <input type="checkbox"/>	00:00:5e:00:53:02	example3

項目	内容
MAC アドレスフィルタリングを有効にする	MAC フィルタリングを有効にする場合にチェックを入れます。
MAC アドレス	通信を禁止する MAC アドレスを設定します。
コメント	登録する MAC アドレスに関する情報を設定します。(任意)
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
[保存]ボタン	登録リストへ設定を保存します。 ※1
[保存して再起動]ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。 ※2
MAC フィルタリング登録リスト	
[選択したエントリーを削除]ボタン	チェックを入れたエントリーを削除します。
[全て削除]ボタン	全てのエントリーを削除します。

※1: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※2: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

5.5.2 URL フィルタリング設定

登録した URL、またはキーワードを含む HTTP サイトへの接続を禁止する設定を行います。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「URL フィルタリング設定」を選択します。

The screenshot shows the 'URLフィルタリング設定' (URL Filtering Settings) page. On the left is a navigation menu with options like '状態表示', '動作モード', 'ネットワーク設定', 'LAN設定', 'WAN設定', 'VLAN設定', '有線LANポート設定', 'IPv4ファイアウォール設定', '無線LAN設定', and 'システム管理'. The 'URLフィルタリング設定' option is highlighted. The main content area includes the following elements:

- Header: **URLフィルタリング設定**
- Text: 登録したURL、またはキーワードを含むHTTPサイトへの接続を拒否します。本フィルタリングは、HTTPサイトのみに対応しており、HTTPSサイトには対応していません。
- Form: A checkbox labeled 'URLフィルタリングを有効にする' is checked. Below it is a text input field for 'URL・キーワード'.
- Buttons: 'キャンセル', '保存', and '保存して再起動'.
- Table: 'URLフィルタリング登録リスト (20エントリーまで登録可能)'. The table has two columns: 'No.' and 'URL・キーワード'. It lists three entries: 1 (example1.jp), 2 (example2.jp), and 3 (example3.jp), each with a checkbox.
- Buttons: '選択したエントリーを削除' and '全て削除'.

項目	内容
URL フィルタリングを有効にする	URL フィルタリングを有効にする場合にチェックを入れます。
URL・キーワード	拒否するキーワードを設定します。 ※1
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
[保存]ボタン	登録リストへ設定を保存します。 ※2
[保存して再起動]ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。 ※3
URL フィルタリング登録リスト	
[選択したエントリーを削除]ボタン	チェックを入れたエントリーを削除します。
[全て削除]ボタン	全てのエントリーを削除します。

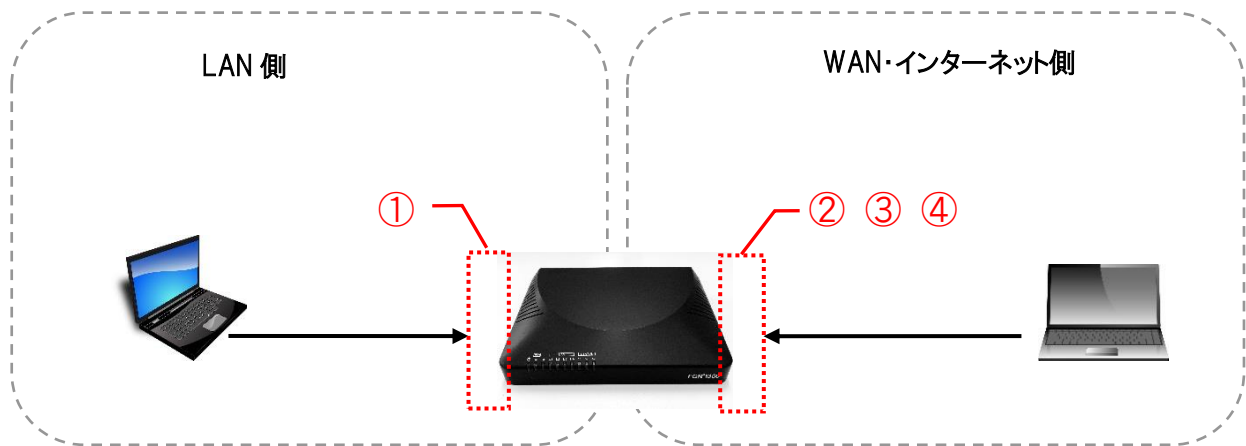
※1: 本フィルタリングは、HTTP サイトのみに対応しており、HTTPS サイトには対応していません。

※2: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※3: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

5.5.3 ルーター宛フィルタリング設定

本機(ルーター)宛の packets に対する受信パケットフィルタリングの設定を行います。
対象の受信インタフェースは下記①～④になります。



■ 対象受信インタフェース

LAN 側	WAN・インターネット側
① LAN (グループ 0～3)	② PPPoE ③ WAN (DHCP クライアント・IP 固定) ④ v6 コネクト

注意事項

フィルタリングリストに登録されていないパケットは、LAN 側から本機宛への通信は許可となります。
インターネット側(WAN を含む)から本機宛への通信は全て破棄となります。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「ルーター宛フィルタリング設定」を選択します。

項目	内容
処理	「破棄」か「許可」を選択します。
プロトコル	「TCP+UDP」「TCP」「UDP」「ICMP」「GRE」「ESP」「AH」から選択します。
受信（入力）インタフェース	「LAN:グループ0～3」「PPPoE」「WAN」「v6 コネクト」から選択します。
送信元 IP アドレス	送信元 IP アドレスを設定します。※1
送信先ポート範囲	送信先ポート番号を設定します。※2
コメント	登録するエントリーに関する情報を設定します。（任意）
〔キャンセル〕ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
〔保存〕ボタン	登録リストへ設定を保存します。※3
〔保存して再起動〕ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。※4
ルーター宛フィルタリング登録リスト	
操作 [↓][↑]ボタン	矢印の方向にエントリー順序を移動します。
〔削除〕ボタン	対象エントリーを削除します。
〔全て削除〕ボタン	全てのエントリーを削除します。

※1: マスク値と組み合わせることにより、範囲指定が可能です。（例、192.168.150.0/24）

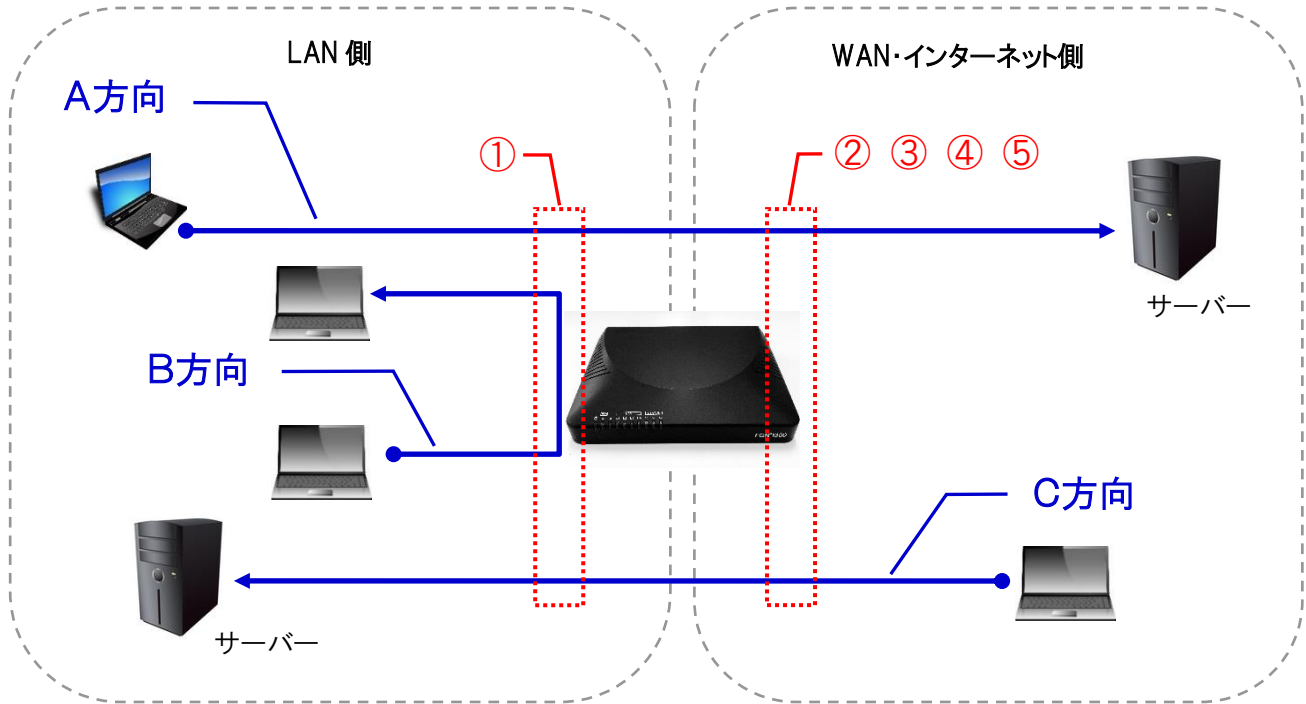
※2: 範囲設定する場合「:」で区切ります。（例、20:21）

※3: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※4: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

5.5.4 ルーター通過フィルタリング設定

本機(ルーター)を通過するパケットに対するフィルタリングを行います。対象となる受信・送信インタフェースは下記①～⑤になります。また、インタフェースに対するパケット通過の方向例を A～C で示します。



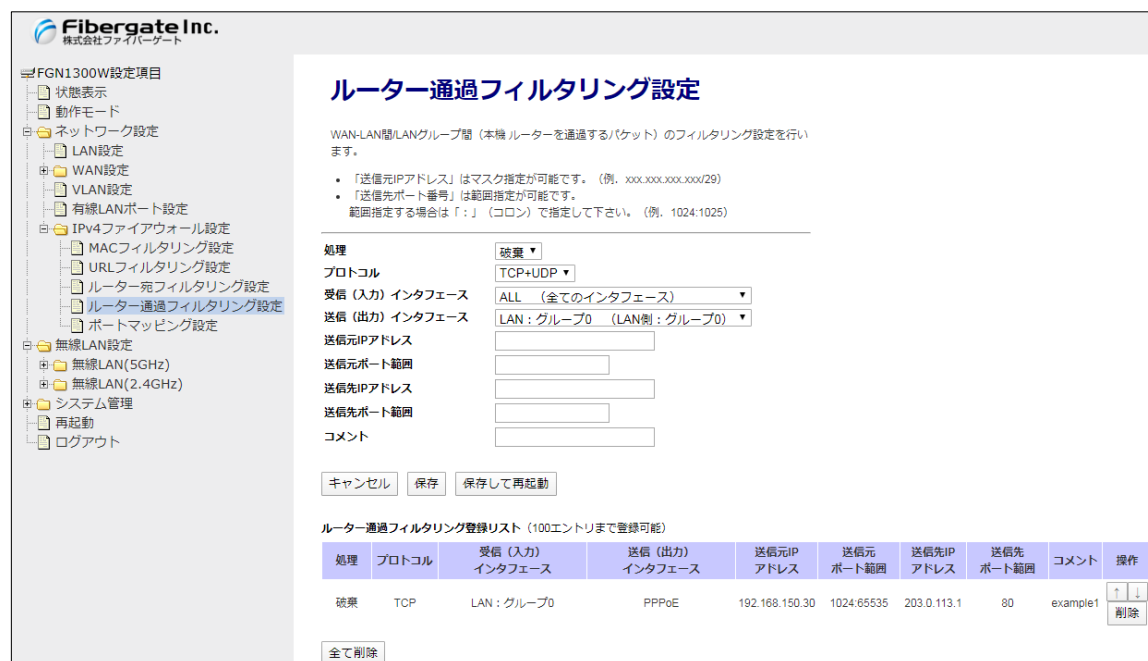
■ 対象受信・送信インタフェース

LAN 側	WAN・インターネット側
① LAN (グループ 0～3)	② PPPoE ③ WAN (DHCP クライアント・IP 固定) ④ v6 コネクト ⑤ ALL (全てのインタフェースが対象)

■ 対象パケット通信方向

パケットの方向	受信(入力)インタフェース	送信(出力)インタフェース
A方向	LAN (グループ 0～3)	PPPoE・WAN・v6 コネクト・ALL
B方向	LAN (グループ 0～3)	LAN (グループ 0～3)
C方向	PPPoE・WAN・v6 コネクト・ALL	LAN (グループ 0～3)

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「ルーター通過フィルタリング設定」を選択します。



項目	内容
処理	「破棄」か「許可」を選択します。
プロトコル	「TCP+UDP」「TCP」「UDP」「ICMP」「GRE」「ESP」「AH」から選択します。
受信(入力)インタフェース	「ALL(全てのインタフェース)」「LAN:グループ 0~3」「PPPoE」「WAN」「v6コネクト」から選択します。
送信(出力)インタフェース	「ALL(全てのインタフェース)」「LAN:グループ 0~3」「PPPoE」「WAN」「v6コネクト」から選択します。
送信元 IP アドレス	送信元 IP アドレスを設定します。※1
送信元ポート範囲	送信元ポート番号を設定します。※2
送信先 IP アドレス	送信先 IP アドレスを設定します。※1
送信先ポート範囲	送信先ポート番号を設定します。※2
コメント	登録するエントリーに関する情報を設定します。(任意)
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
[保存]ボタン	登録リストへ設定を保存します。※3
[保存して再起動]ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。※4
ルーター通過フィルタリング登録リスト	
操作 [↓][↑]ボタン	矢印の方向にエントリー順序を移動します。
[削除]ボタン	対象エントリーを削除します。
[全て削除]ボタン	全てのエントリーを削除します。

※1: マスク値と組み合わせることにより、範囲指定が可能です。(例. 192.168.150.0/24)

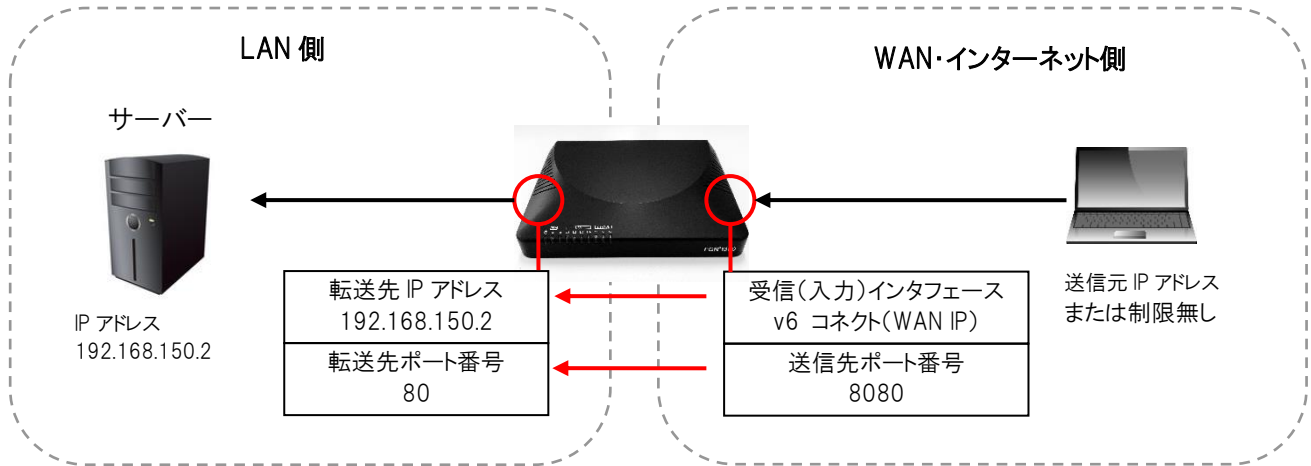
※2: 範囲設定する場合「:」で区切ります。(例. 20:21)

※3: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※4: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

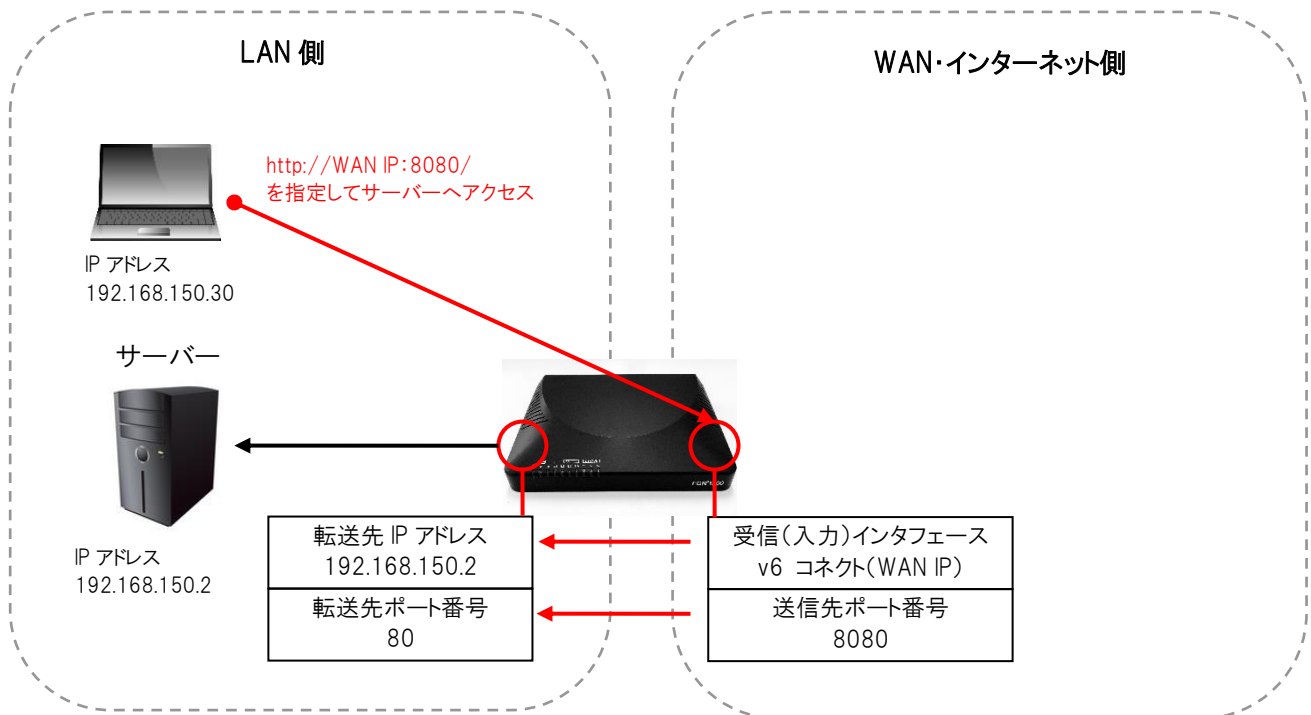
5.5.5 ポートマッピング設定

「ポートマッピング設定」では、WAN(インターネット)側から本機のWAN側IPアドレス・ポート宛の接続要求を、LAN側IPアドレス・ポートへ転送するための設定を行います。



● ヘアピンNAT

ヘアピンNATを有効にした場合、LAN側の端末は、同一ネットワーク内に存在するポートマッピング先の機器に対して、本機が取得しているWAN側のIPと設定した送信先ポート番号を指定することでアクセスすることができます。



左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「ポートマッピング設定」を選択します。

項目	内容
プロトコル	「TCP+UDP」「TCP」「UDP」から選択します。
受信(入力)インタフェース	「PPPoE」「WAN」「v6 コネクト」「ALL」から選択します。
送信元 IP アドレス	WAN側からアクセスする送信元 IP アドレスを設定します。 ※1
送信先ポート番号	WAN側からアクセスする際のポート番号を設定します。 ※2
転送先IPアドレス	転送先のLAN側IPアドレスを設定します。
転送(変換)先ポート番号	転送先の接続ポート番号を設定します。
コメント	登録するエントリーに関する情報を設定します。(任意)
ヘアピンNATを有効にする	ヘアピンNAT機能を有効にする場合にチェックを入れます。
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
[保存]ボタン	登録リストへ設定を保存します。 ※3
[保存して再起動]ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。 ※4
ポートマッピング登録リスト	
操作 [↓][↑]ボタン	矢印の方向にエントリー順序を移動します。
[削除]ボタン	対象エントリーを削除します。
[全て削除]ボタン	全てのエントリーを削除します。

※1: マスク値と組み合わせることにより、範囲指定が可能です。(例. 192.168.150.0/24)

※2: 範囲設定する場合「:」で区切ります。(例. 20:21)

※3: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※4: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

6 無線 LAN 設定

本機の無線 LAN 設定を行います。

6.1 無線 LAN(5GHz)

無線 LAN(5GHz)の設定を行います。

6.1.1 基本設定

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN(5GHz)」→「基本設定」を選択します。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバゲート

FGN1300W設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
- 無線LAN設定
 - 無線LAN(5GHz)
 - 基本設定
 - セキュリティ設定
 - 拡張設定
 - アクセス制御設定
 - スケジュール設定
 - サイトサーベイ
 - 無線LAN(2.4GHz)
- システム管理
 - 再起動
 - ログアウト

無線LAN 5GHz 基本設定

無線LAN 5GHzの基本設定（周波数、SSID、チャンネル設定など）を行います。

無線LANを無効にする

周波数: 5 GHz (a+n+ac) ▼

チャンネル幅: 20MHz ▼

拡張チャンネル: 自動 ▼

チャンネル選択範囲: ALL ▼

チャンネル番号: 自動(DFS) ▼

ルートSSID設定

ルートSSID: RootSSID_5Ghz

無線クライアント通信遮断

ブロードキャストSSID: 有効 ▼

帯域 (伝送速度): 自動 ▼

送信速度制限 (Mbps): 0 Mbps (0: 制限無し)

受信速度制限 (Mbps): 0 Mbps (0: 制限無し)

接続無線クライアント: 表示

マルチSSID設定: マルチSSID設定

キャンセル 保存 保存して再起動

項目	内容
無線 LAN を無効にする	無線 LAN を無効にする場合にチェックを入れます。
周波数	無線 LAN で使用する周波数を選択します。
・ 5GHz(a+n+ac)	IEEE802.11a/n/ac で通信を行います。
・ 5GHz(n+ac)	IEEE802.11n 及び IEEE802.11ac で通信を行います。
・ 5GHz(a+n)	IEEE802.11a 及び IEEE802.11n で通信を行います。
・ 5GHz(n)	IEEE802.11n でのみ通信を行います。
・ 5GHz(a)	IEEE802.11a でのみ通信を行います。
チャンネル幅	周波数の帯域幅を選択します。
・ 20MHz	20MHz の帯域幅で通信を行います。
・ 40MHz	40MHz の帯域幅で通信を行います。
・ 80MHz	80MHz の帯域幅で通信を行います。
拡張チャンネル	周波数 5GHz の帯域では「自動」のみの動作になります。

チャンネル選択範囲	チャンネルの選択範囲を設定します。
・ ALL	全てのチャンネルが選択の対象になります。
・ W52	W52(36,40,44,48)のチャンネルが選択対象になります。 DFS 機能の動作を避ける場合は、当該チャンネル範囲を設定します。
・ W56	W56(100,104,108,112,116,120,124,128,132,136)のチャンネルが選択対象になります。DFS 機能が動作した場合も、W56 のチャンネルから選択します。屋外で利用する場合は、当該チャンネル範囲を設定します。
チャンネル番号	無線 LAN のチャンネル番号を選択します。
ルート SSID 設定	
ルート SSID	ルート SSID を設定します。
無線クライアント間通信遮断	無線クライアント間の通信を遮断する場合にチェックを入れます。
ブロードキャスト SSID	ブロードキャスト SSID の動作(無効/有効)を選択します。
帯域(伝送速度)	無線 LAN の伝送速度を選択します。
送信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(ルート SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の制限値を設定します。※1 送信速度は、本機ルート SSID からの接続クライアントへの速度が対象になります。0 を設定した場合は制限なしとして動作します。
受信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(ルート SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の制限値を設定します。※1 受信速度は、接続クライアントから本機ルート SSID への速度が対象になります。0 を設定した場合は制限なしとして動作します。
接続無線クライアント	ルート SSID に接続している無線 LAN クライアントの情報を設定します。
マルチ SSID 設定	マルチ SSID 設定画面を表示します。

※1:送信・受信速度制限の設定は、ルーターモード時のみ利用可能です。

また、無線 LAN インターフェース(ルート SSID)と有線 LAN 間の通信、無線 LAN インターフェース(ルート SSID)間の通信は、制御の対象外のため利用できません。

6.1.2 マルチ SSID 設定

無線 LAN 5GHz のマルチ SSID の設定を行います。

前項画面の「基本設定」→〔マルチ SSID 設定〕ボタンをクリックします。

無線LAN 5GHz 基本設定

無線LAN 5GHzの基本設定（周波数、SSID、チャンネル設定など）を行います。

無線LANを無効にする

周波数 ▼

チャンネル幅 ▼

拡張チャンネル ▼

チャンネル選択範囲 ▼

チャンネル番号 ▼

ルートSSID設定

ルートSSID

無線クライアント間通信遮断

ブロードキャストSSID ▼

帯域（伝送速度） ▼

送信速度制限（Mbps） Mbps（0：制限無し）

受信速度制限（Mbps） Mbps（0：制限無し）

接続無線クライアント

マルチSSID設定 マルチSSID設定



無線LAN 5GHz マルチSSID設定

無線LAN 5GHzのマルチSSID設定を行います。

マルチSSID	有効	周波数	マルチSSID	無線クライアント間通信遮断	ブロードキャストSSID	帯域（伝送速度）	送信速度制限（Mbps）	受信速度制限（Mbps）	接続無線クライアント
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/>	5 GHz (a+n+ac) ▼	MultiSSID1_5Ghz	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="表示"/>
SSID2	<input type="checkbox"/>	5 GHz (a+n+ac) ▼	MultiSSID2_5Ghz	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="表示"/>
SSID3	<input type="checkbox"/>	5 GHz (a+n+ac) ▼	MultiSSID3_5Ghz	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="表示"/>
SSID4	<input type="checkbox"/>	5 GHz (a+n+ac) ▼	MultiSSID4_5Ghz	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="表示"/>

項目	内容
有効	チェックを入れるとマルチ SSID が有効になります。
周波数	無線 LAN で使用する周波数を選択します。
・ 5GHz(a+n+ac)	IEEE802.11a/n/ac で通信を行います。
・ 5GHz(n+ac)	IEEE802.11n 及び IEEE802.11ac で通信を行います。
・ 5GHz(a+n)	IEEE802.11a 及び IEEE802.11n で通信を行います。
・ 5GHz(n)	IEEE802.11n でのみ通信を行います。
・ 5GHz(a)	IEEE802.11a でのみ通信を行います。
マルチ SSID	各マルチ SSID を設定します。
無線クライアント間通信遮断	ルート SSID に接続する無線クライアント間の通信を遮断する場合にチェックを入れます。
ブロードキャスト SSID	ブロードキャスト SSID の動作(無効/有効)を選択します。

帯域(伝送速度)	無線 LAN の伝送速度を選択します。
送信速度制限(Mbps)	無線インターフェース(マルチ SSID)と WAN インターフェース間の通信速度の制限値を設定します。※1 送信速度は、本機ルート SSID からの接続クライアントへの速度が対象になります。0 を設定した場合は制限なしとして動作します。
受信速度制限(Mbps)	無線インターフェース(マルチ SSID)と WAN インターフェース間の通信速度の制限値を設定します。※1 受信速度は、接続クライアントから本機ルート SSID への速度が対象になります。0 を設定した場合は制限なしとして動作します。
接続無線クライアント	ルート SSID に接続している無線 LAN クライアントの情報を設定します。

※1:送信・受信速度制限の設定は、ルーターモード時のみ利用可能です。

また、無線 LAN インターフェース(マルチ SSID)と有線 LAN 間の通信、無線 LAN インターフェース(マルチ SSID)間の通信は、制御の対象外のため利用できません。

6.1.2.1 無線 LAN 接続クライアント表示

本機の無線 LAN アクセスポイントに接続している無線 LAN クライアントの情報を表示します。
 ルート SSID 接続クライアントは「基本設定」→〔表示〕ボタンをクリックします。

無線LAN 5GHz 基本設定

無線LAN 5GHzの基本設定（周波数、SSID、チャンネル設定など）を行います。

無線LANを無効にする

周波数: 5 GHz (a+n+ac) ▼
 チャンネル幅: 20MHz ▼
 基準チャンネル: 自動 ▼
 チャンネル選択範囲: ALL ▼
 チャンネル番号: 自動(DFS) ▼

ルートSSID設定

ルートSSID: RootSSID_5Ghz

無線クライアント関連設定

無線クライアント関連設定:

ブロードキャストSSID: 有効 ▼
 帯域 (伝送速度): 自動 ▼
 送信速度制限 (Mbps): 0 Mbps (0: 制限無し)
 受信速度制限 (Mbps): 0 Mbps (0: 制限無し)

接続無線クライアント: **表示**

マルチSSID設定: マルチSSID設定

無線LAN 5GHz ルートSSID 接続クライアント表示

無線LAN 5GHz ルートSSIDに接続されている無線LANクライアントを表示します。

MACアドレス	周波数	チャンネル幅	送信パケット数	受信パケット数	送信バイト数	受信バイト数	速度 (Mbps)	RSSI (dBm)	電波強度	接続時間 (秒)
08:00:27:00:00:01	11ac	20M	65	100	25KB	26KB	130	-28	Excellent	00:00:11

再読み込み 閉じる

マルチ SSID 接続クライアントは「基本設定」→〔マルチ SSID 設定〕→〔表示〕ボタンをクリックします。

無線LAN 5GHz マルチSSID設定

無線LAN 5GHzのマルチSSID設定を行います。

マルチSSID	有効	周波数	マルチSSID	無線クライアント関連設定	ブロードキャストSSID	帯域 (伝送速度)	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線クライアント
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/>	5 GHz (a+n+ac) ▼	MultiSSID1_5Ghz	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示
SSID2	<input type="checkbox"/>	5 GHz (a+n+ac) ▼	MultiSSID2_5Ghz	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示
SSID3	<input type="checkbox"/>	5 GHz (a+n+ac) ▼	MultiSSID3_5Ghz	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示
SSID4	<input type="checkbox"/>	5 GHz (a+n+ac) ▼	MultiSSID4_5Ghz	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示

キャンセル 保存 保存して再起動

無線LAN 5GHz マルチSSID1接続クライアント表示

無線LAN 5GHz マルチSSID1に接続されている無線LANクライアントを表示します。

MACアドレス	周波数	チャンネル幅	送信パケット数	受信パケット数	送信バイト数	受信バイト数	速度 (Mbps)	RSSI (dBm)	電波強度	接続時間 (秒)
08:00:27:00:00:01	11ac	20M	83	122	27KB	34KB	173	-36	Excellent	00:00:05

再読み込み 閉じる

項目	内容
MAC アドレス	無線 LAN クライアントの MAC アドレスを表示します。
周波数	無線 LAN クライアントの周波数を表示します。
チャンネル幅	無線 LAN クライアントのチャンネル幅を表示します。
送信パケット数	無線 LAN クライアントの送信パケット数を表示します。
受信パケット数	無線 LAN クライアントの受信パケット数を表示します。
送信バイト数	無線 LAN クライアントの送信バイト数を表示します。
受信バイト数	無線 LAN クライアントの受信バイト数を表示します。
速度 (Mbps)	無線 LAN クライアントの送信速度を表示します。
RSSI (dBm)	無線 LAN クライアントの RSSI 値を表示します。
電波強度	無線 LAN クライアントの電波強度を表示します。
接続時間 (秒)	無線 LAN クライアントの接続時間を表示します。

6.1.3 セキュリティ設定

無線 LAN 5GHz のセキュリティ設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (5GHz)」→「セキュリティ設定」を選択します。

The screenshot shows the web interface for the FGN1300W device. The left sidebar contains a menu with the following items: FGN1300W設定項目, 状態表示, 動作モード, ネットワーク設定, 無線LAN設定, 無線LAN(5GHz), 基本設定, セキュリティ設定 (highlighted), 拡張設定, アクセス制御設定, スケジュール設定, サイトサーベイ, 無線LAN(2.4GHz), システム管理, 再起動, and ログアウト. The main content area is titled '無線LAN 5GHz セキュリティ設定' and includes the following text: 'WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。' Below this, there are two dropdown menus: '設定を行うSSID' (set to 'ルート - RootSSID 5Ghz') and '暗号モード' (set to '無効'). At the bottom, there are three buttons: 'キャンセル', '保存', and '保存して再起動'.

項目	内容
設定を行う SSID	セキュリティ設定を行う SSID を選択します。
暗号モード	前項で選択した SSID の暗号化モードを選択します。
・ 無効	暗号モードを無効にします。
・ WEP	暗号モードを「WEP」に設定します。
・ WPA	暗号モードを「WPA」に設定します。
・ WPA2	暗号モードを「WPA2」に設定します。
・ WPA-Mixed	暗号モードを「WPA」「WPA2」混在させる場合に設定します。

6.1.3.1 暗号モード WEP

暗号モード「WEP」を選択した場合の設定を行います。

無線LAN 5GHz セキュリティ設定

WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。

設定を行うSSID

暗号モード

認証方式 オープンシステム 共有キー 自動

暗号キーの長さ

暗号キーのフォーマット

暗号キー

項目	内容
認証方式	WEP の認証方式を選択します。
・ オープンシステム	オープンシステム(Open System)認証を行います。
・ 共有キー	共有キー(Shared Key)認証を行います。
・ 自動	接続相手に応じて、オープンシステム認証か共有キー認証のどちらか片方を行います。
暗号キーの長さ	暗号化キーの長さを選択します。
・ 64bit	文字列で 5 文字(半角英数字/記号)、16 進数で 10 文字(半角 0~9、半角 a~f)の暗号キーを設定できます。
・ 128bit	文字列で 13 文字(半角英数字/記号)、16 進数で 26 文字(半角 0~9、半角 a~f)の暗号キーを設定できます。
暗号キーのフォーマット	暗号キーの形式を選択します。
・ 文字列(ASCII)	暗号キーを文字列で設定します。
・ 16 進数(Hex)	暗号キーを 16 進数で設定します。
暗号キー	暗号キーを設定します。「暗号キーの長さ」、「暗号キーのフォーマット」に合わせて任意の暗号キーを設定します。

6.1.3.2 暗号モード WPA/WPA2/WPA-Mixed（事前共有キー）

暗号モードで「WPA」、「WPA2」、「WPA-Mixed」と認証方式で事前共有キーを選択した場合の設定を行います。

無線LAN 5GHz セキュリティ設定

WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。

設定を行うSSID

暗号モード

認証方式 RADIUS認証 事前共有キー

WPA暗号化方式 TKIP AES TKIP/AES

事前共有キーのフォーマット

事前共有キー

項目	内容
WPA 暗号化方式	暗号化方式を選択します。
・ TKIP	一定時間毎にキーを更新し、通信の確認・認証を行います。 1 つの暗号キーを長時間共有する WEP よりも安全な通信を行うことが可能です。
・ AES	TKIP よりも高度な暗号を用います。
・ TKIP/AES	接続相手に応じて、TKIP・AES を用います。
事前共有キーのフォーマット	事前共有キーの形式を選択します。
・ 文字列(ASCII)	共有キーを文字列で設定します。
・ 16 進数(Hex)	共有キーを 16 進数で設定します。
事前共有キー	「事前共有キーのフォーマット」に合わせて任意の共有キーを設定します。

6.1.3.3 暗号モード WPA/WPA2/WPA-Mixed (RADIUS 認証)

暗号モードで「WPA」、「WPA2」、「WPA-Mixed」と認証方式で RADIUS 認証を選択した場合の設定を行います。

無線LAN 5GHz セキュリティ設定

WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。

設定を行うSSID

暗号モード

認証方式 RADIUS認証 事前共有キー

WPA暗号化方式 TKIP AES TKIP/AES

RADIUSサーバーのIPアドレス

RADIUSサーバーのポート番号

RADIUSサーバーのパスワード

項目	内容
RADIUS サーバーの IP アドレス	RADIUS サーバーの IP アドレスを設定します。
RADIUS サーバーのポート番号	RADIUS サーバーのポート番号を設定します。
RADIUS サーバーのパスワード	RADIUS サーバーのパスワードを設定します。

6.1.4 拡張設定

無線 LAN 5GHz の拡張設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (5GHz)」→「拡張設定」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1300W設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
 - 無線LAN設定
 - 無線LAN(5GHz)
 - 基本設定
 - セキュリティ設定
 - 拡張設定**
 - アクセス制御設定
 - スケジュール設定
 - サイトサーベイ
 - 無線LAN(2.4GHz)
 - システム管理
 - 再起動
 - ログアウト

無線LAN 5GHz 拡張設定

無線LAN 5GHzの拡張設定を行います。

本画面の設定は無線LANに関する知識が必要となります。
設定内容によっては無線LANの接続性が低下するなどの影響が発生する場合がありますので、注意して設定して下さい。

フラグメントしきい値 (256-2346)

RTSしきい値 (0-2347)

ビーコン間隔 (20-1024 ms)

プロテクション 有効 無効

Aggregation 有効 無効

Short GI 有効 無効

送信出力 100% 70% 50% 35% 15%

キャンセル 保存 保存して再起動

項目	内容
フラグメントしきい値	フラグメント(分割)するパケットサイズを設定します。設定値よりも大きなサイズのパケットを送信する場合、設定値のサイズにフラグメントして送信します。
RTSしきい値	RTS(Request To Send・送信要求)信号を送信するパケットサイズを設定します。設定値よりも大きなサイズのパケットを送信する場合、RTS 信号を送信します。
ビーコン間隔	無線電波の送出間隔を設定します。ビーコン間隔を小さくすると、無線LAN クライアントとの接続効率は上がりますが、通信効率は下がります。
プロテクション	無線LAN クライアントとの通信にRTS/CTS フロー制御を行う場合、有効に設定します。
Aggregation	複数のパケット群のグループ化と、帯域増加のための送信を有効化します。
Short GI	Short GI(Short Guard Interval)を設定します。Short GIを使用することでデータ通信の効率を上げることができますが、反射波の影響を受けやすくなり、データ通信全体のスループットに影響を与える場合があります。
送信出力	無線の送信出力を設定します。

6.1.5 アクセス制御設定

無線 LAN 5GHz の拡張設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (5GHz)」→「アクセス制御設定」を選択します。

項目	内容
無線 LAN アクセス制御モード	無線 LAN 接続クライアントの MAC アドレスによるアクセス制御モードを選択します。
・ 無効	無線 LAN 接続クライアントの MAC アドレスによる制御を行いません。
・ 登録した MAC アドレスアクセス許可	無線 LAN 接続を許可するクライアントの MAC アドレスを登録します。登録されていない MAC アドレスからの無線 LAN 接続を拒否します。※1
・ 登録した MAC アドレスアクセス拒否	無線 LAN 接続を拒否するクライアントの MAC アドレスを登録します。登録されていない MAC アドレスからの無線 LAN 接続を許可します。※1
MAC アドレス	無線 LAN アクセス制御を行うクライアントの MAC アドレスを設定します。 (入力形式はコロン:付になります。例 xx:xx:xx:xx:xx:xx)
コメント	登録する MAC アドレスに関する情報を設定します。(任意)
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
[保存]ボタン	登録リストへ設定を保存します。※2
[保存して再起動]ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。※3
MAC アドレス登録リスト	
[選択したエントリーを削除]ボタン	チェックボックスで選択したエントリーを削除します。
[全て削除]ボタン	全てのエントリーを削除します。

※1: 設定動作はアクセス許可・拒否のいずれか一方の動作になります。アクセス許可と拒否を同時に設定することはできません。

※2: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※3: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

6.1.6 スケジュール設定

無線 LAN 5GHz のスケジュール設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (5GHz)」→「スケジュール設定」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1300W設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
- 無線LAN設定
 - 無線LAN(5GHz)
 - 基本設定
 - セキュリティ設定
 - 拡張設定
 - アクセス制御設定
 - スケジュール設定
 - サイトサーベイ
 - 無線LAN(2.4GHz)
- システム管理
 - 再起動
 - ログアウト

無線LAN 5GHz スケジュール設定

無線LANを有効化するスケジュール設定を行います。

本機能を有効に設定した場合、設定した曜日・時間帯にのみ、無線LANを使用することができます。
本機能を利用する場合は、必ず「時刻情報設定」画面で「NTPクライアント機能を有効にする」設定を行って下さい。

スケジュール機能を有効にする

有効	曜日	開始時刻	終了時刻
<input type="checkbox"/>	日曜 ▼	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
<input type="checkbox"/>	日曜 ▼	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
<input type="checkbox"/>	日曜 ▼	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
<input type="checkbox"/>	日曜 ▼	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
<input type="checkbox"/>	日曜 ▼	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
<input type="checkbox"/>	日曜 ▼	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
<input type="checkbox"/>	日曜 ▼	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
<input type="checkbox"/>	日曜 ▼	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
<input type="checkbox"/>	日曜 ▼	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
<input type="checkbox"/>	日曜 ▼	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
<input type="checkbox"/>	日曜 ▼	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
<input type="checkbox"/>	日曜 ▼	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
<input type="checkbox"/>	日曜 ▼	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
<input type="checkbox"/>	日曜 ▼	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)
<input type="checkbox"/>	日曜 ▼	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)	00 ▼ (時) 00 ▼ (分)

キャンセル 保存 保存して再起動

項目	内容
スケジュール機能を有効にする	スケジュール機能を有効にする場合にチェックを入れます。 ※1
有効	チェックを入れると該当行のスケジュールが有効になります。
曜日	無線 LAN を有効化する曜日を選択します。
開始時刻	開始時刻(時)(分)を選択します。
終了時刻	終了時刻(時)(分)を選択します。

※1:本機能の利用する場合は、必ず「時刻情報設定」画面で、「NTP クライアント」を有効にする」の設定を行ってください。

6.1.7 サイトサーベイ

周辺の無線 LAN 5GHz のアクセスポイントの状況を表示します。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (5GHz)」→「サイトサーベイ」を選択します。

画面内の〔再読み込み〕ボタンをクリックすることで、本機付近の他の無線 LAN アクセスポイントの状況が表示されます。

SSID	BSSID	チャンネル番号 周波数	動作モード	暗号モード	RSSI (dBm)	電波強度
WiFiNet_01	c8:9e:a1:58:a5:7a	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	WPA-PSK/WPA2-PSK	-46	Excellent
	c8:9e:a1:58:a5:88	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-46	Excellent
POSS	ac:44:82:5e:a5:19	36 (a/n/ac)	アクセスポイント	WPA2-PSK	-47	Excellent
WiFiNet	c8:9e:a1:58:a5:88	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-47	Excellent
CMR-TEST_02	c8:9e:a1:58:a1:3e	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-52	Good
	c8:9e:a1:58:a1:92	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-52	Good
WiFiNet_01	c8:9e:a1:58:a1:3f	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	WPA-PSK/WPA2-PSK	-53	Good
	c8:9e:a1:58:a2:08	44 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-69	Good
WiFiNet_01	c8:9e:a1:58:a2:00	44 (a/n/ac)	アクセスポイント	WPA-PSK/WPA2-PSK	-71	Good
-GOSRGGG	c8:9e:a1:58:a2:02	44 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-71	Good

6.2 無線 LAN(2.4GHz)

無線 LAN(2.4GHz)の設定を行います。

6.2.1 基本設定

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN(2.4GHz)」→「基本設定」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

FGN1300W設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
 - 無線LAN設定
 - 無線LAN(5GHz)
 - 無線LAN(2.4GHz)
 - 基本設定**
 - セキュリティ設定
 - 拡張設定
 - アクセス制御設定
 - スケジュール設定
 - サイトサーベイ
- システム管理
 - 再起動
 - ログアウト

無線LAN 2.4GHz 基本設定

無線LAN 2.4GHzの基本設定（周波数、SSID、チャンネル設定など）を行います。

無線LANを無効にする

周波数: 2.4 GHz (b+g+n) ▼

チャンネル幅: 20MHz ▼

拡張チャンネル: 上側 ▼

チャンネル番号: 自動 ▼

ルートSSID設定

ルートSSID: RootSSID_2.4Ghz

無線クライアント間通信遮断:

ブロードキャストSSID: 有効 ▼

帯域（伝送速度）: 自動 ▼

送信速度制限 (Mbps): 0 Mbps (0: 制限無し)

受信速度制限 (Mbps): 0 Mbps (0: 制限無し)

接続無線クライアント: 表示

マルチSSID設定: マルチSSID設定

キャンセル 保存 保存して再起動

項目	内容
無線 LAN を無効にする	無線 LAN を無効にする場合にチェックを入れます。
周波数	無線 LAN で使用する周波数を選択します。
・ 2.4GHz (b+g+n)	IEEE802.11b/g/n で通信を行います。
・ 2.4GHz (g+n)	IEEE802.11g 及び IEEE802.11n で通信を行います。
・ 2.4GHz (b+g)	IEEE802.11b 及び IEEE802.11g で通信を行います。
・ 2.4GHz (n)	IEEE802.11n でのみ通信を行います。
・ 2.4GHz (g)	IEEE802.11g でのみ通信を行います。
・ 2.4GHz (b)	IEEE802.11b でのみ通信を行います。
チャンネル幅	周波数の帯域幅を選択します。
・ 20MHz	20MHz の帯域幅で通信を行います。
・ 40MHz	40MHz の帯域幅で通信を行います。
拡張チャンネル	IEEE802.11n の拡張チャンネルを選択します。 IEEE802.11n を含む周波数で、チャンネル幅を「40MHz」を設定した場合に選択できます。
チャンネル番号	無線 LAN のチャンネル番号を選択します。

ルート SSID 設定	
ルート SSID	ルート SSID を設定します。
無線クライアント間通信遮断	ルート SSID に接続する無線クライアント間の通信を遮断する場合にチェックを入れます。
ブロードキャスト SSID	ブロードキャスト SSID の動作(無効/有効)を選択します。
帯域(伝送速度)	無線 LAN の伝送速度を選択します。
送信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(ルート SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の制限値を設定します。※1 送信速度は、本機ルート SSID からの接続クライアントへの速度が対象になります。0 を設定した場合は制限なしとして動作します。
受信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(ルート SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の制限値を設定します。※1 受信速度は、接続クライアントから本機ルート SSID への速度が対象になります。0 を設定した場合は制限なしとして動作します。
接続無線クライアント	ルート SSID に接続している無線 LAN クライアントの情報を設定します。
マルチ SSID 設定	マルチ SSID 設定画面を表示します。

※1:送信・受信速度制限の設定は、ルーターモード時のみ利用可能です。

また、無線 LAN インターフェース(ルート SSID)と有線 LAN 間の通信、無線 LAN インターフェース(ルート SSID)間の通信は、制御の対象外のため利用できません。

6.2.2 マルチ SSID 設定

無線 LAN 2.4GHz のマルチ SSID の設定を行います。

前項画面の「基本設定」→「マルチ SSID 設定」ボタンをクリックします。

無線LAN 2.4GHz 基本設定

無線LAN 2.4GHzの基本設定（周波数、SSID、チャンネル設定など）を行います。

無線LANを無効にする

周波数 2.4 GHz (b+g+n) ▼

チャンネル幅 20MHz ▼

拡張チャンネル 上側 ▼

チャンネル番号 自動 ▼

ルートSSID設定

ルートSSID RootSSID_2.4Ghz

無線クライアント間通信遮断

ブロードキャストSSID 有効 ▼

帯域（伝送速度） 自動 ▼

送信速度制限（Mbps） 0 Mbps（0：制限無し）

受信速度制限（Mbps） 0 Mbps（0：制限無し）

接続無線クライアント 表示

マルチSSID設定 マルチSSID設定

キャンセル
保存
保存して再起動

無線LAN 2.4GHz マルチSSID設定

無線LAN 2.4GHzのマルチSSID設定を行います。

マルチSSID	有効	周波数	マルチSSID	無線クライアント間通信遮断	ブロードキャストSSID	帯域（伝送速度）	送信速度制限（Mbps）	受信速度制限（Mbps）	接続無線クライアント
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/>	2.4 GHz (b+g+n) ▼	MultiSSID1_2.4Ghz	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示
SSID2	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (b+g+n) ▼	MultiSSID2_2.4Ghz	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示
SSID3	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (b+g+n) ▼	MultiSSID3_2.4Ghz	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示
SSID4	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (b+g+n) ▼	MultiSSID4_2.4Ghz	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示

キャンセル
保存
保存して再起動

項目	内容
有効	チェックを入れるとマルチ SSID が有効になります。
周波数	無線 LAN で使用する周波数を選択します。
• 2.4GHz (b+g+n)	IEEE802.11b/g/n で通信を行います。
• 2.4GHz (g+n)	IEEE802.11g 及び IEEE802.11n で通信を行います。
• 2.4GHz (b+g)	IEEE802.11b 及び IEEE802.11g で通信を行います。
• 2.4GHz (n)	IEEE802.11n でのみ通信を行います。
• 2.4GHz (g)	IEEE802.11g でのみ通信を行います。
• 2.4GHz (b)	IEEE802.11b でのみ通信を行います。
マルチ SSID	各マルチ SSID を設定します。
無線クライアント間通信遮断	無線クライアント間の通信を遮断する場合にチェックを入れます。
ブロードキャスト SSID	ブロードキャスト SSID の動作（無効/有効）を選択します。
帯域（伝送速度）	無線 LAN の伝送速度を選択します。

送信速度制限(Mbps)	無線インターフェース(マルチ SSID)と WAN インターフェース間の通信速度の制限値を設定します。※1 送信速度は、本機ルート SSID からの接続クライアントへの速度が対象になります。0 を設定した場合は制限なしとして動作します。
受信速度制限(Mbps)	無線インターフェース(マルチ SSID)と WAN インターフェース間の通信速度の制限値を設定します。※1 受信速度は、接続クライアントから本機ルート SSID への速度が対象になります。0 を設定した場合は制限なしとして動作します。
接続無線クライアント	各マルチ SSID に接続している無線 LAN クライアントの情報を設定します。

※1:送信・受信速度制限の設定は、ルーターモード時のみ利用可能です。

また、無線 LAN インターフェース(マルチ SSID)と有線 LAN 間の通信、無線 LAN インターフェース(マルチ SSID)間の通信は、制御の対象外のため利用できません。

6.2.2.1 無線 LAN 接続クライアント表示

本機の無線 LAN アクセスポイントに接続している無線 LAN クライアントの情報を表示します。
 ルート SSID 接続クライアントは「基本設定」→〔表示〕ボタンをクリックします。

無線LAN 2.4GHz 基本設定

無線LAN 2.4GHzの基本設定（周波数、SSID、チャンネル設定など）を行います。

無線LANを無効にする

周波数: 2.4 GHz (b+g+n) ▼

チャンネル幅: 20MHz ▼

拡張チャンネル: 上側 ▼

チャンネル番号: 自動 ▼

ルートSSID設定

ルートSSID: RootSSID_2.4Ghz

無線クライアント接続遮断

ブロードキャストSSID: 有効 ▼

帯域（伝送速度): 自動 ▼

送信速度制限 (Mbps): 0 Mbps (0: 制限無し)

受信速度制限 (Mbps): 0 Mbps (0: 制限無し)

接続無線クライアント: **表示**

マルチSSID設定: マルチSSID設定

キャンセル 保存 保存して再起動

無線LAN 2.4GHz ルートSSID 接続クライアント表示

無線LAN 2.4GHz ルートSSIDに接続されている無線LANクライアントを表示します。

MACアドレス	周波数	チャンネル幅	送信パケット数	受信パケット数	送信バイト数	受信バイト数	速度 (Mbps)	RSSI (dBm)	電波強度	接続時間 (秒)
08:00:27:00:00:00	11n	20M	27	43	5KB	4KB	130	-24	Excellent	00:00:05

再読み込み 閉じる

マルチ SSID 接続クライアントは「基本設定」→〔マルチ SSID 設定〕→〔表示〕ボタンをクリックします。

無線LAN 2.4GHz マルチSSID設定

無線LAN 2.4GHzのマルチSSID設定を行います。

マルチSSID	有効	周波数	マルチSSID	無線クライアント接続遮断	ブロードキャストSSID	帯域（伝送速度)	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線クライアント
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/>	2.4 GHz (b+g+n) ▼	MultiSSID1_2.4Ghz	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示
SSID2	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (b+g+n) ▼	MultiSSID2_2.4Ghz	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示
SSID3	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (b+g+n) ▼	MultiSSID3_2.4Ghz	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示
SSID4	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (b+g+n) ▼	MultiSSID4_2.4Ghz	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示

キャンセル 保存 保存して再起動

無線LAN 2.4GHz マルチSSID1接続クライアント表示

無線LAN 2.4GHz マルチSSID1に接続されている無線LANクライアントを表示します。

MACアドレス	周波数	チャンネル幅	送信パケット数	受信パケット数	送信バイト数	受信バイト数	速度 (Mbps)	電波強度	RSSI (dBm)	接続時間 (秒)
08:00:27:00:00:00	11n	20M	50	110	8KB	10KB	130	-28	Excellent	00:00:07

再読み込み 閉じる

項目	内容
MAC アドレス	無線 LAN クライアントの MAC アドレスを表示します。
周波数	無線 LAN クライアントの周波数を表示します。
チャンネル幅	無線 LAN クライアントのチャンネル幅を表示します。
送信パケット数	無線 LAN クライアントの送信パケット数を表示します。
受信パケット数	無線 LAN クライアントの受信パケット数を表示します。
送信バイト数	無線 LAN クライアントの送信バイト数を表示します。
受信バイト数	無線 LAN クライアントの受信バイト数を表示します。
速度 (Mbps)	無線 LAN クライアントの送信速度を表示します。
RSSI (dBm)	無線 LAN クライアントの RSSI 値を表示します。
電波強度	無線 LAN クライアントの電波強度を表示します。
接続時間 (秒)	無線 LAN クライアントの接続時間を表示します。

6.2.3 セキュリティ設定

無線 LAN 2.4GHz のマルチ SSID の設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (2.4GHz)」→「セキュリティ設定」を選択します。



項目	内容
設定を行う SSID	セキュリティ設定を行う SSID を選択します。
暗号モード	前項で選択した SSID の暗号化モードを選択します。
・ 無効	暗号モードを無効にします。
・ WEP	暗号モードを「WEP」に設定します。
・ WPA	暗号モードを「WPA」に設定します。
・ WPA2	暗号モードを「WPA2」に設定します。
・ WPA-Mixed	暗号モードを「WPA」「WPA2」混在させる場合に設定します。

6.2.3.1 暗号モード WEP

暗号モード「WEP」を選択した場合の設定を行います。

無線LAN 2.4GHz セキュリティ設定

WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。

設定を行うSSID

暗号モード

認証方式 オープンシステム 共有キー 自動

暗号キーの長さ

暗号キーのフォーマット

暗号キー

項目	内容
認証方式	WEP の認証方式を選択します。
・ オープンシステム	オープンシステム (Open System) 認証を行います。
・ 共有キー	共有キー (Shared Key) 認証を行います。
・ 自動	接続相手に応じて、オープンシステム 認証か共有キー 認証のどちらか片方を行います。
暗号キーの長さ	暗号化キーの長さを選択します。
・ 64bit	文字列で 5 文字 (半角英数字/記号)、16 進数で 10 文字 (半角 0~9、半角 a~f) の暗号キーを設定できます。
・ 128bit	文字列で 13 文字 (半角英数字/記号)、16 進数で 26 文字 (半角 0~9、半角 a~f) の暗号キーを設定できます。
暗号キーのフォーマット	暗号キーの形式を選択します。
・ 文字列 (ASCII)	暗号キーを文字列で設定します。
・ 16 進数 (Hex)	暗号キーを 16 進数で設定します。
暗号キー	暗号キーを設定します。「暗号キーの長さ」、「暗号キーのフォーマット」に合わせて任意の暗号キーを設定します。

6.2.3.2 暗号モード WPA/WPA2/WPA-Mixed（事前共有キー）

暗号モードで「WPA」、「WPA2」、「WPA-Mixed」と認証方式で事前共有キーを選択した場合の設定を行います。

無線LAN 2.4GHz セキュリティ設定

WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。

設定を行うSSID

暗号モード

認証方式 RADIUS認証 事前共有キー

WPA暗号化方式 TKIP AES TKIP/AES

事前共有キーのフォーマット

事前共有キー

項目	内容
WPA 暗号化方式	暗号化方式を選択します。
・ TKIP	一定時間毎にキーを更新し、通信の確認・認証を行います。 1 つの暗号キーを長時間共有する WEP よりも安全な通信を行うことが可能です。
・ AES	TKIP よりも高度な暗号を用います。
・ TKIP/AES	接続相手に応じて、TKIP・AES を用います。
事前共有キーのフォーマット	事前共有キーの形式を選択します。
・ 文字列(ASCII)	共有キーを文字列で設定します。
・ 16 進数(Hex)	共有キーを 16 進数で設定します。
事前共有キー	「事前共有キーのフォーマット」に合わせて任意の共有キーを設定します。

6.2.3.3 暗号モード WPA/WPA2/WPA-Mixed (RADIUS 認証)

暗号モードで「WPA」、「WPA2」、「WPA-Mixed」と認証方式で RADIUS 認証を選択した場合の設定を行います。

無線LAN 2.4GHz セキュリティ設定

WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。

設定を行うSSID

暗号モード

認証方式 RADIUS認証 事前共有キー

WPA暗号化方式 TKIP AES TKIP/AES

RADIUSサーバーのIPアドレス

RADIUSサーバーのポート番号

RADIUSサーバーのパスワード

項目	内容
RADIUS サーバーの IP アドレス	RADIUS サーバーの IP アドレスを設定します。
RADIUS サーバーのポート番号	RADIUS サーバーのポート番号を設定します。
RADIUS サーバーのパスワード	RADIUS サーバーのパスワードを設定します。

6.2.4 拡張設定

無線 LAN 2.4GHz の拡張設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (2.4GHz)」→「拡張設定」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1300W設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
 - 無線LAN設定
 - 無線LAN(5GHz)
 - 無線LAN(2.4GHz)
 - 基本設定
 - セキュリティ設定
 - 拡張設定
 - アクセス制御設定
 - スケジュール設定
 - サイトサーベイ
 - システム管理
 - 再起動
 - ログアウト

無線LAN 2.4GHz 拡張設定

無線LAN 2.4GHzの拡張設定を行います。

本画面の設定は無線LANに関する知識が必要となります。
設定内容によっては無線LANの接続性が低下するなどの影響が発生する場合がありますので、注意して設定して下さい。

フラグメントしきい値 (256-2346)

RTSしきい値 (0-2347)

ビーコン間隔 (20-1024 ms)

プリアンブルタイプ ロングプリアンブル ショートプリアンブル

プロテクション 有効 無効

Aggregation 有効 無効

Short GI 有効 無効

送信出力 100% 70% 50% 35% 15%

項目	内容
フラグメントしきい値	フラグメント(分割)するパケットサイズを設定します。設定値よりも大きなサイズのパケットを送信する場合、設定値のサイズにフラグメントして送信します。
RTSしきい値	RTS(Request To Send・送信要求)信号を送信するパケットサイズを設定します。設定値よりも大きなサイズのパケットを送信する場合、RTS 信号を送信します。
ビーコン間隔	無線電波の送出間隔を設定します。ビーコン間隔を小さくすると、無線 LAN クライアントとの接続効率は上がりますが、通信効率は下がります。
プリアンブルタイプ	「ロングプリアンブル」、「ショートプリアンブル」から選択します。 「ショートプリアンブル」を設定した場合、無線 LAN 間の通信速度が速くなりますが、ショートプリアンブルに対応していない無線クライアントの場合、接続できない恐れがあります。
プロテクション	無線 LAN クライアントとの通信に RTS/CTS フロー制御を行う場合、有効に設定します。
Aggregation	複数のパケット群のグループ化と、帯域増加のための送信を有効化します。
Short GI	Short GI(Short Guard Interval)を設定します。Short GIを使用することでデータ通信の効率を上げることができますが、反射波の影響を受けやすくなり、データ通信全体のスループットに影響を与える場合があります。
送信出力	無線の送信出力を設定します。

6.2.5 アクセス制御設定

無線 LAN 2.4GHz の拡張設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (2.4GHz)」→「アクセス制御設定」を選択します。

項目	内容
無線 LAN アクセス制御モード	無線 LAN 接続クライアントの MAC アドレスによるアクセス制御モードを選択します。
・ 無効	無線 LAN 接続クライアントの MAC アドレスによる制御を行いません。
・ 登録した MAC アドレスアクセス許可	無線 LAN 接続を許可するクライアントの MAC アドレスを登録します。登録されていない MAC アドレスからの無線 LAN 接続を拒否します。※1
・ 登録した MAC アドレスアクセス拒否	無線 LAN 接続を拒否するクライアントの MAC アドレスを登録します。登録されていない MAC アドレスからの無線 LAN 接続を許可します。※1
MAC アドレス	無線 LAN アクセス制御を行うクライアントの MAC アドレスを設定します。 (入力形式はコロン:付になります。例 xx:xx:xx:xx:xx:xx)
コメント	登録する MAC アドレスに関する情報を設定します。(任意)
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
[保存]ボタン	登録リストへ設定を保存します。※2
[保存して再起動]ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。※3
MAC アドレス登録リスト	
[選択したエントリーを削除]ボタン	チェックボックスで選択したエントリーを削除します。
[全て削除]ボタン	全てのエントリーを削除します。

※1: 設定動作はアクセス許可・拒否のいずれか一方の動作になります。アクセス許可と拒否を同時に設定することはできません。

※2: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※3: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

6.2.6 スケジュール設定

無線 LAN 2.4GHz のスケジュール設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (2.4GHz)」→「スケジュール設定」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1300W設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
 - 無線LAN設定
 - 無線LAN(5GHz)
 - 無線LAN(2.4GHz)
 - 基本設定
 - セキュリティ設定
 - 拡張設定
 - アクセス制御設定
 - スケジュール設定
 - サイトサーバイ
- システム管理
 - 再起動
 - ログアウト

無線LAN 2.4GHz スケジュール設定

無線LANを有効化するスケジュール設定を行います。

本機能を有効に設定した場合、設定した曜日・時間帯にのみ、無線LANを使用することができます。
本機能を利用する場合は、必ず「時刻情報設定」画面で「NTPクライアント機能を有効にする」設定を行って下さい。

スケジュール機能を有効にする

有効	曜日	開始時刻	終了時刻
<input type="checkbox"/>	日曜	00 (時) 00 (分)	00 (時) 00 (分)
<input type="checkbox"/>	日曜	00 (時) 00 (分)	00 (時) 00 (分)
<input type="checkbox"/>	日曜	00 (時) 00 (分)	00 (時) 00 (分)
<input type="checkbox"/>	日曜	00 (時) 00 (分)	00 (時) 00 (分)
<input type="checkbox"/>	日曜	00 (時) 00 (分)	00 (時) 00 (分)
<input type="checkbox"/>	日曜	00 (時) 00 (分)	00 (時) 00 (分)
<input type="checkbox"/>	日曜	00 (時) 00 (分)	00 (時) 00 (分)
<input type="checkbox"/>	日曜	00 (時) 00 (分)	00 (時) 00 (分)
<input type="checkbox"/>	日曜	00 (時) 00 (分)	00 (時) 00 (分)
<input type="checkbox"/>	日曜	00 (時) 00 (分)	00 (時) 00 (分)
<input type="checkbox"/>	日曜	00 (時) 00 (分)	00 (時) 00 (分)
<input type="checkbox"/>	日曜	00 (時) 00 (分)	00 (時) 00 (分)
<input type="checkbox"/>	日曜	00 (時) 00 (分)	00 (時) 00 (分)
<input type="checkbox"/>	日曜	00 (時) 00 (分)	00 (時) 00 (分)
<input type="checkbox"/>	日曜	00 (時) 00 (分)	00 (時) 00 (分)
<input type="checkbox"/>	日曜	00 (時) 00 (分)	00 (時) 00 (分)

キャンセル 保存 保存して再起動

項目	内容
スケジュール機能を有効にする	スケジュール機能を有効にする場合にチェックを入れます。※1
有効	チェックを入れると該当行のスケジュールが有効になります。
曜日	無線 LAN を有効化する曜日を選択します。
開始時刻	開始時刻(時)(分)を選択します。
終了時刻	終了時刻(時)(分)を選択します。

※1:本機能の利用する場合は、必ず「時刻情報設定」画面で、「NTP クライアント」を有効にする」の設定を行ってください。

6.2.7 サイトサーベイ

周辺の無線 LAN 2.4GHz のアクセスポイントの状況を表示します。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (2.4GHz)」→「サイトサーベイ」を選択します。

画面内の〔再読み込み〕ボタンをクリックすることで、本機付近の他の無線 LAN アクセスポイントの状況が表示されます。

The screenshot shows the web interface for Fibergate Inc. The left sidebar contains a menu with '無線LAN設定' expanded to '無線LAN(2.4GHz)', and 'サイトサーベイ' selected. The main content area is titled '無線LAN 2.4GHz サイトサーベイ' and includes a '再読み込み' button and a table with headers: SSID, BSSID, チャンネル番号 周波数, 動作モード, 暗号モード, RSSI (dBm), and 電波強度. The table currently shows a single row with '(再読み込みをクリック)' in the SSID column.

The screenshot shows the '無線LAN 2.4GHz サイトサーベイ' page with the '再読み込み' button. The table below displays the following data:

SSID	BSSID	チャンネル番号 周波数	動作モード	暗号モード	RSSI (dBm)	電波強度
+80000_guriforce	08:00:41:0d:8a:20	9 (b/g/n)	アクセスポイント	WPA-PSK/WPA2-PSK	-26	Excellent
MAC_7g_7ch0_3	04:40:27:82:8a:20	1 (b/g/n)	アクセスポイント	無効	-32	Excellent
mac_7g_7ch0	04:40:27:82:8a:20	1 (b/g/n)	アクセスポイント	無効	-33	Excellent
mac_7g_7ch0_1	04:40:27:82:8a:20	1 (b/g/n)	アクセスポイント	無効	-33	Excellent
MAC_7g_7ch0_2	04:40:27:82:8a:20	1 (b/g/n)	アクセスポイント	無効	-33	Excellent
WIFI_7ch0_4	e8:8e:d1:50:85:50	7 (b/g/n)	アクセスポイント	WPA-PSK/WPA2-PSK	-37	Excellent
+ed00-p-04_7ch0_2_40	c8:8e:d1:50:85:50	1 (b/g/n)	アクセスポイント	WPA-PSK/WPA2-PSK	-38	Excellent
PC000	00:14:33:9a:8e:00	1 (b/g/n)	アクセスポイント	WPA2-PSK	-41	Excellent

7 システム管理

本機の各種システム管理の設定を行います。

7.1 パケット送受信量 統計

各有線ポートのパケット送受信量を表示します。

左のメニューリストから「システム管理」→「パケット送受信量 統計」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバーゲート

FGN1300W設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
- 無線LAN設定
- システム管理
 - パケット送受信量 統計**
 - システムモニタ
 - 時刻情報設定
 - DoS検知・防御設定
 - ネットワークキューティリティ
 - システムログ
 - ファームウェアバージョンアップ
 - 設定保存・読み込み・初期化
 - ユーザー名・パスワード設定
 - HTTPSリダイレクト設定
 - iOS Captive Portal設定
- 再起動
- ログアウト

パケット送受信量 統計

パケットの送受信量を表示します。

無線LAN(5GHz)ルートSSID	
受信パケット:	0
受信バイト:	0
送信パケット:	0
送信バイト:	0

無線LAN(2.4GHz)ルートSSID	
受信パケット:	0
受信バイト:	0
送信パケット:	0
送信バイト:	0

有線LAN1	
受信パケット:	0
受信バイト:	0
送信パケット:	872
送信バイト:	270486

有線LAN2	
受信パケット:	6329
受信バイト:	766117
送信パケット:	6446
送信バイト:	4352204

有線LAN3	
受信パケット:	0
受信バイト:	0
送信パケット:	872
送信バイト:	270486

有線LAN4	
受信パケット:	0
受信バイト:	0
送信パケット:	872
送信バイト:	270486

有線WAN	
受信パケット:	5764
受信バイト:	4105045
送信パケット:	5303
送信バイト:	945217

項目	内容
[再読み込み]ボタン	統計情報を更新します。

7.2 システムモニタ

本機のシステム情報を監視します。

左のメニューリストから「システム管理」→「システムモニタ」を選択します。

項目	内容
システム監視を有効にする	システム監視を有効にする場合にチェックを入れます。
[設定変更]ボタン	システム監視を適用します。適用時の再起動は不要です。
[再読み込み]ボタン	監視情報を更新します。

7.3 時刻情報設定

本機の時刻情報の設定を行います。

左のメニューリストから「システム管理」→「時刻情報設定」を選択します。

The screenshot shows the '時刻情報設定' (Time Information Setting) page. The sidebar menu on the left includes '時刻情報設定' (Time Information Setting) under 'システム管理' (System Management). The main content area has the following settings:

- 現在の時刻** (Current Time): 2020年 03月 23日 13時 42分 07秒
- タイムゾーン** (Time Zone): (GMT+09:00) Japan, Korea
- NTPクライアントを有効にする** (Enable NTP Client):
- NTPサーバー** (NTP Server): ntp.nict.jp

Buttons at the bottom include 'キャンセル' (Cancel), '保存' (Save), and '保存して再起動' (Save and Restart).

項目	内容
現在の時刻	本機が保持している時刻情報を表示します。
タイムゾーン	工場出荷値で(GMT+09:00)Japan,Korea が選択されています。 (通常、変更する必要はありません。)
NTPクライアントを有効にする	NTP のクライアントを有効にする場合にチェックを入れます。
NTP サーバー	参照するNTP サーバーを選択するか、NTP サーバーのアドレスを入力します。

7.4 DoS 検知・防御設定

本機の時刻情報の設定を行います。

左のメニューリストから「システム管理」→「Dos 検知・防御設定」を選択します。



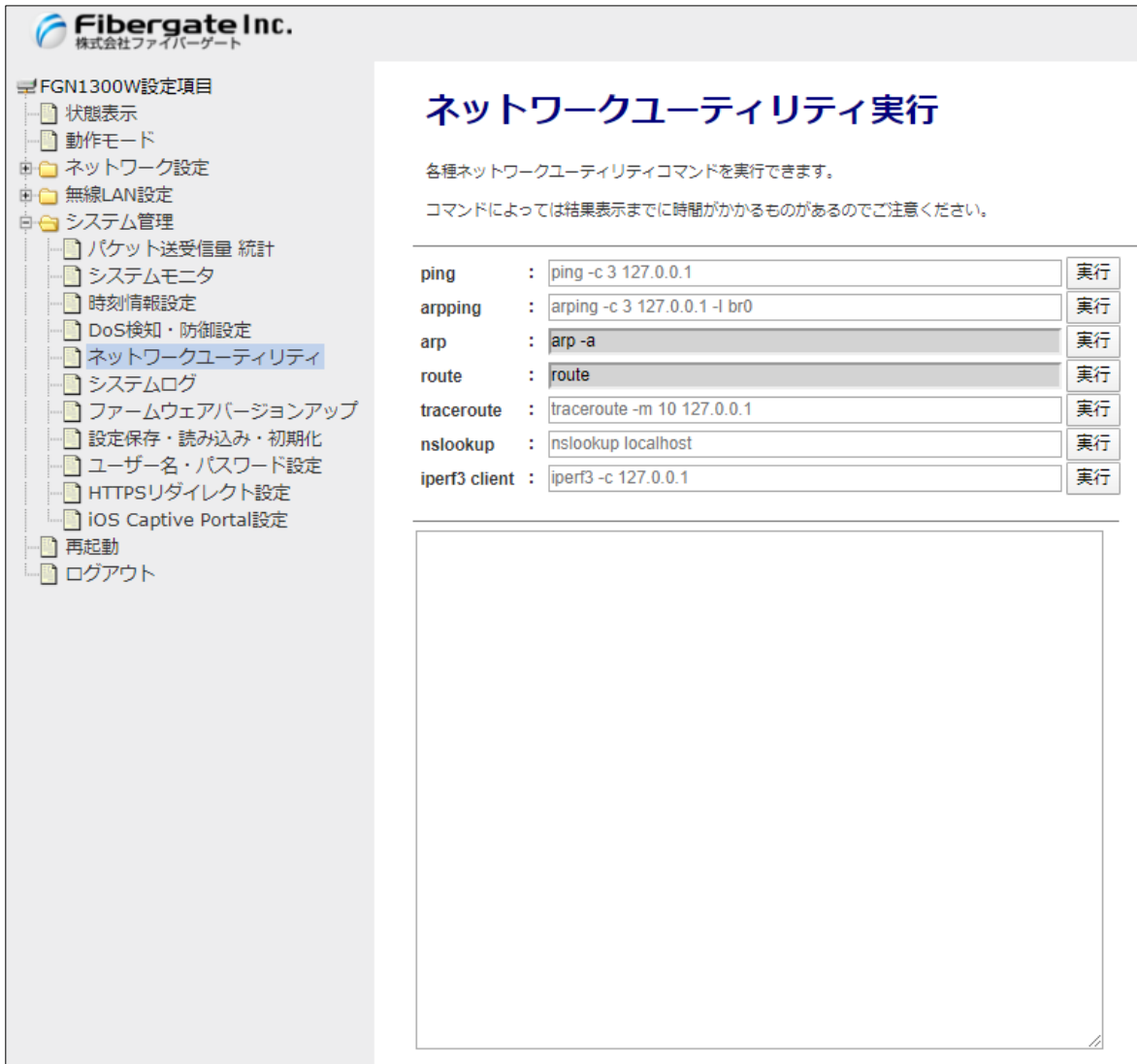
項目	内容
Port Scan 検知・防御設定	Port Scan を検知・防御設定の動作(無効/有効)を選択します。
SYN Flood 検知・防御設定	SYN Flood を検知・防御設定の動作(無効/有効)を選択します。

7.5 ネットワークユーティリティ

本機からの ping や arp 等のコマンドを実行します。

左のメニューリストから「システム管理」→「ネットワークユーティリティ」を選択します。

各コマンド欄に実行するコマンドを入力した後、〔実行〕ボタンをクリックします。



Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1300W設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
- 無線LAN設定
- システム管理
 - パケット送受信量 統計
 - システムモニタ
 - 時刻情報設定
 - DoS検知・防御設定
 - ネットワークユーティリティ
 - システムログ
 - ファームウェアバージョンアップ
 - 設定保存・読み込み・初期化
 - ユーザー名・パスワード設定
 - HTTPSリダイレクト設定
 - iOS Captive Portal設定
- 再起動
- ログアウト

ネットワークユーティリティ実行

各種ネットワークユーティリティコマンドを実行できます。
コマンドによっては結果表示までに時間がかかるものがあるのでご注意ください。

ping	: ping -c 3 127.0.0.1	実行
arping	: arping -c 3 127.0.0.1 -I br0	実行
arp	: arp -a	実行
route	: route	実行
traceroute	: traceroute -m 10 127.0.0.1	実行
nslookup	: nslookup localhost	実行
iperf3 client	: iperf3 -c 127.0.0.1	実行

注意事項

arp コマンドおよび route コマンドは、コマンド内容を指定できません。

コマンドによっては応答に時間がかかる場合があります。応答があるまで他の WebGUI の操作はできません。

7.6 システムログ

本機のシステムログを表示します。

左のメニューリストから「システム管理」→「システムログ」を選択します。

The screenshot shows the 'システムログ' (System Log) page in the Fibergate Inc. management interface. On the left, a navigation menu lists various system settings, with 'システム管理' (System Management) expanded and 'システムログ' (System Log) selected. The main area displays the title 'システムログ' and a sub-header 'システムのログ情報を表示します。' (Display system log information). Below this, there is a checkbox labeled 'ログをサーバーに送信する' (Send logs to server), a text input field for '送信先サーバーIPアドレス' (Destination server IP address), and buttons for 'キャンセル' (Cancel), '保存' (Save), and '保存して再起動' (Save and restart). Further down, there are buttons for '再読み込み' (Refresh), '消去' (Clear), and 'ダウンロード' (Download). The log window shows a series of kernel messages, including 'syslog.info syslogd started: BusyBox v1.12.1' and several 'kern.notice kernel:' and 'kern.warn kernel:' entries with timestamps and memory addresses.

項目	内容
ログをサーバーに送信する	チェックを入れると指定した IP アドレス先のサーバーへ等へログを送信します。
送信先サーバーIP アドレス	ログを送信する先のサーバー等の IP アドレスを入力します。
〔再読み込み〕ボタン	システムログを更新します。
〔消去〕ボタン	表示されているシステムログを消去します。
〔ダウンロード〕ボタン	現在保存されているログを設定操作している端末にテキストファイル(拡張子.txt)として保存、取得することができます。

7.7 ファームウェアバージョンアップ

本機のファームウェアバージョンアップを行います。

左のメニューリストから「システム管理」→「ファームウェアバージョンアップ」を選択します。



項目	内容
現在のバージョン	動作中のファームウェアバージョンを表示します。
ファイル選択	[ファイルを選択] ボタンをクリックすると、ファイルが選択できます。
[手動バージョンアップ開始] ボタン	選択したファームウェアを本機へ反映します。※1

※1: ボタンをクリックした直後より、反映作業と再起動が実施されます。

バージョンアップ中、再起動中に本機の電源を切ったり、ケーブルを抜いたりしないで下さい。

【手順】

① [ファイルを選択] ボタンをクリック

② 対象ファイルをクリック

③ [開く] ボタンをクリック

④ [手動バージョンアップ開始] ボタンをクリック

バージョンアップ開始

再起動開始

本機の再起動を行います。

本機の電源を切らずに、そのままお待ち下さい。

あと 53 秒...

7.8 設定保存・読み込み・初期化

本機の設定をファイルに保存する、ファイルから設定を読み込む、設定を工場出荷値に戻すことができます。左のメニューリストから「システム管理」→「設定保存・読み込み・初期化」を選択します。

項目	内容
設定をファイルに保存	[保存]ボタンをクリックすると、本機に設定されている情報を設定ファイルとして保存、取得することができます。
設定をファイルから読み込む	[ファイルを選択]ボタンをクリックすると、任意の場所に保管している設定ファイルを本機上にセットすることができます。 設定ファイルをセットした後に、[読込]ボタンをクリックすると、設定ファイルの内容を反映することができます。 ※1
設定を工場出荷値に戻す	[実行]ボタンをクリックすると、本機の設定が全て工場出荷値に戻ります。 ※2

※1: [読込]ボタンをクリックした直後より、反映作業と再起動が実施されます。

※2: [実行]ボタンをクリックした直後より、初期化作業と再起動が実施されます。

7.9 ユーザー・パスワード設定

本機の WebGUI へログインする際のユーザー名とパスワードを設定します。

左のメニューリストから「システム管理」→「ユーザー・パスワード設定」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1300W設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
- 無線LAN設定
- システム管理
 - パケット送受信量 統計
 - システムモニタ
 - 時刻情報設定
 - DoS検知・防御設定
 - ネットワークユーティリティ
 - システムログ
 - ファームウェアバージョンアップ
 - 設定保存・読み込み・初期化
 - ユーザー名・パスワード設定**
 - HTTPSリダイレクト設定
 - iOS Captive Portal設定
- 再起動
- ログアウト

ユーザー名・パスワード設定

本機の設定画面にアクセスするためのユーザー名・パスワードを設定します。
ユーザー名とパスワードを空欄に設定すると、ユーザー名・パスワードによる保護が無効となります。

新しいユーザー名

新しいパスワード

新しいパスワード(再入力)

項目	内容
新しいユーザー名	新しいユーザー名を入力します。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
新しいパスワード(再入力)	新しいパスワードで入力した同一内容を入力します。
[設定変更]ボタン	ボタンをクリックすると、即時変更内容が反映されます。

7.10 HTTPS リダイレクト設定

接続クライアントのHTTPS アクセスに対するリダイレクト動作を設定します。

左のメニューリストから「システム管理」→「HTTPS リダイレクト設定」を選択します。



項目	内容
HTTPS リダイレクトモード	HTTPS リダイレクト設定の動作(無効/有効)を選択します。

7.11 iOS Captive Portal 設定

iOS 端末の Captive Portal 動作を設定します。

左のメニューリストから「システム管理」→「iOS Captive Portal 設定」を選択します。



項目	内容
iOS Captive Portal 設定	iOS Captive Portal 設定の動作(無効/有効)を選択します。

7.12 ローカル再起動時刻設定

本機の再起動スケジュールを設定します。

左のメニューリストから「システム管理」→「ローカル再起動時刻設定」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1300W設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
- 無線LAN設定
- システム管理
 - パケット送受信量 統計
 - システムモニタ
 - 時刻情報設定
 - ローカル再起動設定**
 - ネットワークキューティリティ
 - システムログ
 - ファームウェアバージョンアップ
 - 設定保存・読み込み・初期化
 - ユーザー名・パスワード設定
- 再起動
- ログアウト

ローカル再起動時刻設定

再起動の時刻設定ページです。サーバから再起動時刻を取得できなかったときやAPモードで動作させている場合に動作します。

時刻設定なしの場合や時刻情報を取得できなかった場合は、設定した時刻に動作しない場合があります。

ローカル再起動を有効にする

曜日 時 分

項目	内容
ローカル再起動を有効にする	ローカル再起動を有効にする場合にチェックを入れます。
曜日	「毎日」「月曜」～「日曜」から選択します。
時	「00」～「23」から選択します。(1 時間間隔)
分	「00」～「50」から選択します。(10 分間隔)

注意事項

本機能はアクセスポイントモード時のみの機能になります。ルーターモード時は利用できません。

8 再起動とログアウト

本機の再起動とログアウトを行います。

- 再起動

左のメニューリストから「再起動」を選択します。



項目	内容
[再起動]ボタン	ボタンをクリックすると即時、本機の再起動が開始します。

- ログアウト

左のメニューリストから「ログアウト」を選択します。

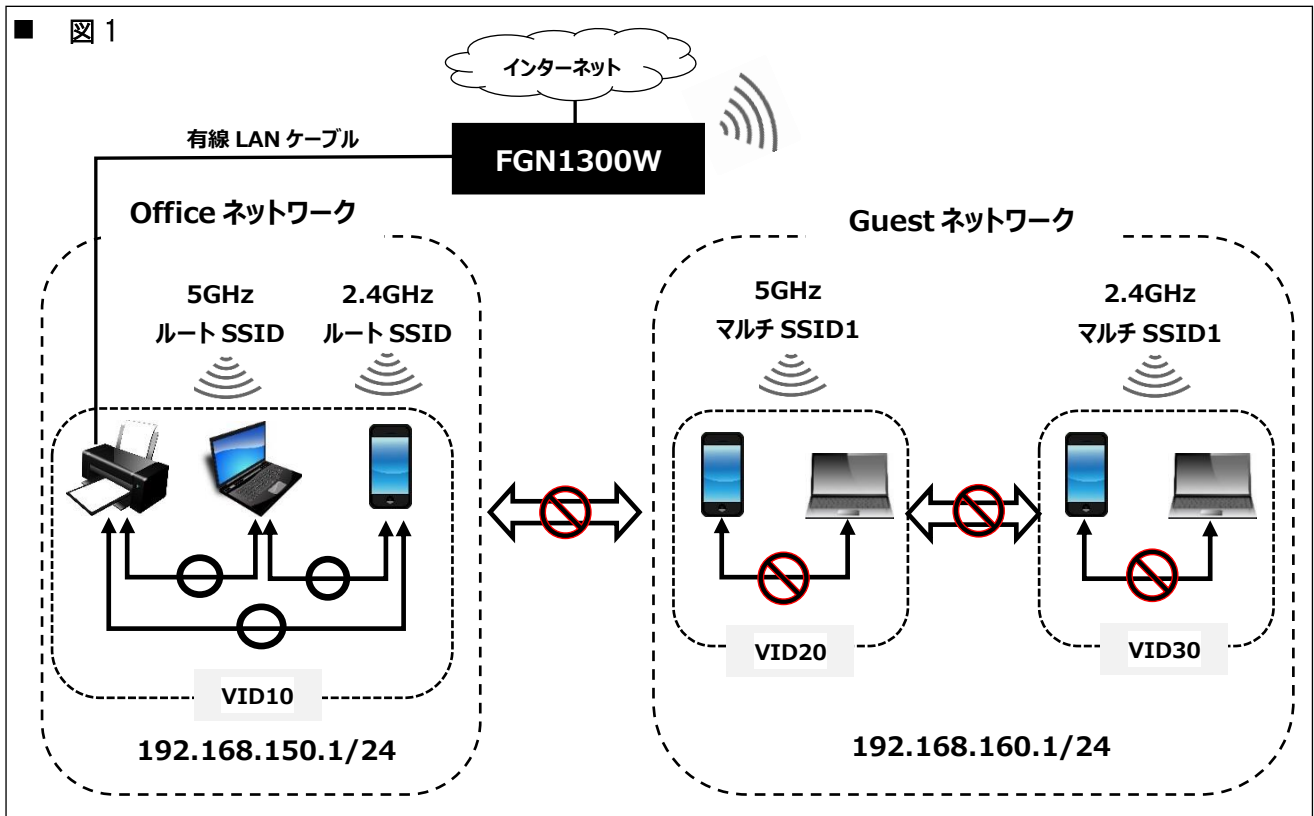


項目	内容
[ログアウト]ボタン	ボタンをクリックすると本機の WebGUI からログアウトします。

9 付録

9.1 設定例 - VLAN 設定(ネットワークを分離するケース)

- ユースケース・利用条件
 - ・ Office ネットワークと Guest ネットワークを分離する
 - ・ Office ネットワーク、Guest ネットワークともにインターネットへの通信を行う
 - ・ Office ネットワークは、192.198.150.1/24 のネットワーク帯とし、Wi-Fi はルート SSID を使用する
 - ・ Guest ネットワークは、192.198.160.1/24 のネットワーク帯とし、Wi-Fi はマルチ SSID1 を使用する
 - ・ Office ネットワークに接続している端末間の通信は許可する
 - ・ Guest ネットワークに接続している端末間の通信は遮断する
 - ・ Guest ネットワークに接続する端末は Wi-Fi 接続のみとする



■ 設定値

ネットワーク	インタフェース	VID	VLAN IP グループ	IP アドレス帯	無線クライアント間通信遮断
Office ネットワーク	有線 LAN ポート 1~4	10	グループ 0	192.168.150.1/24	---
	無線 LAN(5GHz)ルート SSID				無効
	無線 LAN(2.4GHz)ルート SSID				無効
Guest ネットワーク	無線 LAN(5GHz)マルチ SSID1	20	グループ 1	192.168.160.1/24	有効
	無線 LAN(2.4GHz)マルチ SSID1	30			有効

■ 設定内容

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「VLAN 設定」を選択します。

VLAN設定

VLANの設定を行います。

- 同一のVLAN IDで設定されたLANポート間の通信を許可します。
- 異なるVLAN IDで設定されたLANポート間の通信を遮断します。

VLANを有効にする

VLAN ID・IPグループ 設定

インタフェース	種別	Tag	Trunk	VLAN ID(2-4094)	VLAN IPグループ
有線LAN ポート1	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
有線LAN ポート2	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
有線LAN ポート3	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
有線LAN ポート4	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
無線LAN(5GHz)ルートSSID	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
無線LAN(5GHz)マルチSSID1	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20	グループ1
無線LAN(5GHz)マルチSSID2	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
無線LAN(5GHz)マルチSSID3	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
無線LAN(5GHz)マルチSSID4	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
無線LAN(2.4GHz)ルートSSID	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID1	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	30	グループ1
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID2	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID3	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID4	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
有線WAN ポート1	WAN	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	--

VLAN IP設定

グループ	VLAN IP	IPアドレス	サブネットマスク	DHCPサーバー	詳細設定
グループ0	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.150.1	255.255.255.0	有効	LAN設定
グループ1	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.160.1	255.255.255.0	無効	IP設定
グループ2	<input type="checkbox"/>	192.168.170.1	255.255.255.0	無効	IP設定
グループ3	<input type="checkbox"/>	192.168.180.1	255.255.255.0	無効	IP設定

キャンセル 保存 保存して再起動

グループ1IP設定 ④-(1)

グループ1のIPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

グループ1IPアドレス

グループ1サブネットマスク

グループ1DHCPサーバー設定

DHCPサーバー

付与IPアドレス範囲

先頭 終了

リース期限 (15-10080分)

ドメイン名

キャンセル 保存 閉じる

- 「VLAN を有効にする」にチェックを入れます。
- Office ネットワーク用に LAN ポート 2~4、無線 LAN (5GHz) ルート SSID、(2.4GHz) ルート SSID の VLAN ID に 10 を入力します。
- Guest ネットワーク用に無線 LAN (5GHz) マルチ SSID の VLAN ID に 20、(2.4GHz) マルチ SSID1 の VLAN ID に 30 を入力します。
- VLAN IP 設定内のグループ 1 にチェックを入れ、[IP 設定] ボタンをクリックします。
- ④-(1) グループ 1IP 設定内の DHCP サーバーを「有効」に設定し、[保存] ボタンをクリックします。
- 無線 LAN (5GHz)、(2.4GHz) マルチ SSID1 の VLAN IP グループで「グループ 1」を選択します。
- [保存] ボタンをクリックし、設定を保存します。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN(5GHz)、(2.4GHz)」→「基本設定」を選択します。

無線LAN 5GHz 基本設定

無線LAN 5GHzの基本設定 (周波数、SSID、チャンネル設定など) を行います。
設定変更後、本機の再起動が行われていません。
変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

無線LANを無効にする

周波数

チャンネル幅

拡張チャンネル

チャンネル幅拡張範囲

チャンネル番号

ルートSSID設定

ルートSSID

無線クライアント間通信遮断

ブロードキャストSSID

帯域 (伝送速度)

送信速度制限 (Mbps) Mbps (0: 制限無し)

受信速度制限 (Mbps) Mbps (0: 制限無し)

接続無線クライアント

マルチSSID設定

キャンセル 保存 保存して再起動

無線LAN 2.4GHz 基本設定

無線LAN 2.4GHzの基本設定 (周波数、SSID、チャンネル設定など) を行います。
設定変更後、本機の再起動が行われていません。
変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

無線LANを無効にする

周波数

チャンネル幅

拡張チャンネル

チャンネル番号

ルートSSID設定

ルートSSID

無線クライアント間通信遮断

ブロードキャストSSID

帯域 (伝送速度)

送信速度制限 (Mbps) Mbps (0: 制限無し)

受信速度制限 (Mbps) Mbps (0: 制限無し)

接続無線クライアント

マルチSSID設定

キャンセル 保存 保存して再起動

無線LAN 5GHz マルチSSID設定 ⑧-(1)

無線LAN 5GHzのマルチSSID設定を行います。
設定変更後、本機の再起動が行われていません。
変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

マルチSSID	周波数	マルチSSID	無線クライアント間通信遮断	ブロードキャストSSID	帯域 (伝送速度)	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線クライアント
SSID1	5 GHz (a+n+a)	Guest_5G	<input type="checkbox"/>	有効	自動	0	0	表示
SSID2	5 GHz (a+n+a)	Ign1300W_VAP2_5G	<input type="checkbox"/>	有効	自動	0	0	表示
SSID3	5 GHz (a+n+a)	Ign1300W_VAP3_5G	<input type="checkbox"/>	有効	自動	0	0	表示
SSID4	5 GHz (a+n+a)	Ign1300W_VAP4_5G	<input type="checkbox"/>	有効	自動	0	0	表示

キャンセル 保存 保存して再起動

無線LAN 2.4GHz マルチSSID設定 ⑧-(1)

無線LAN 2.4GHzのマルチSSID設定を行います。
設定変更後、本機の再起動が行われていません。
変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

マルチSSID	周波数	マルチSSID	無線クライアント間通信遮断	ブロードキャストSSID	帯域 (伝送速度)	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線クライアント
SSID1	2.4 GHz (b+g+n)	Guest_2.4G	<input type="checkbox"/>	有効	自動	0	0	表示
SSID2	2.4 GHz (b+g+n)	Ign1300W_VAP2_2.4G	<input type="checkbox"/>	有効	自動	0	0	表示
SSID3	2.4 GHz (b+g+n)	Ign1300W_VAP3_2.4G	<input type="checkbox"/>	有効	自動	0	0	表示
SSID4	2.4 GHz (b+g+n)	Ign1300W_VAP4_2.4G	<input type="checkbox"/>	有効	自動	0	0	表示

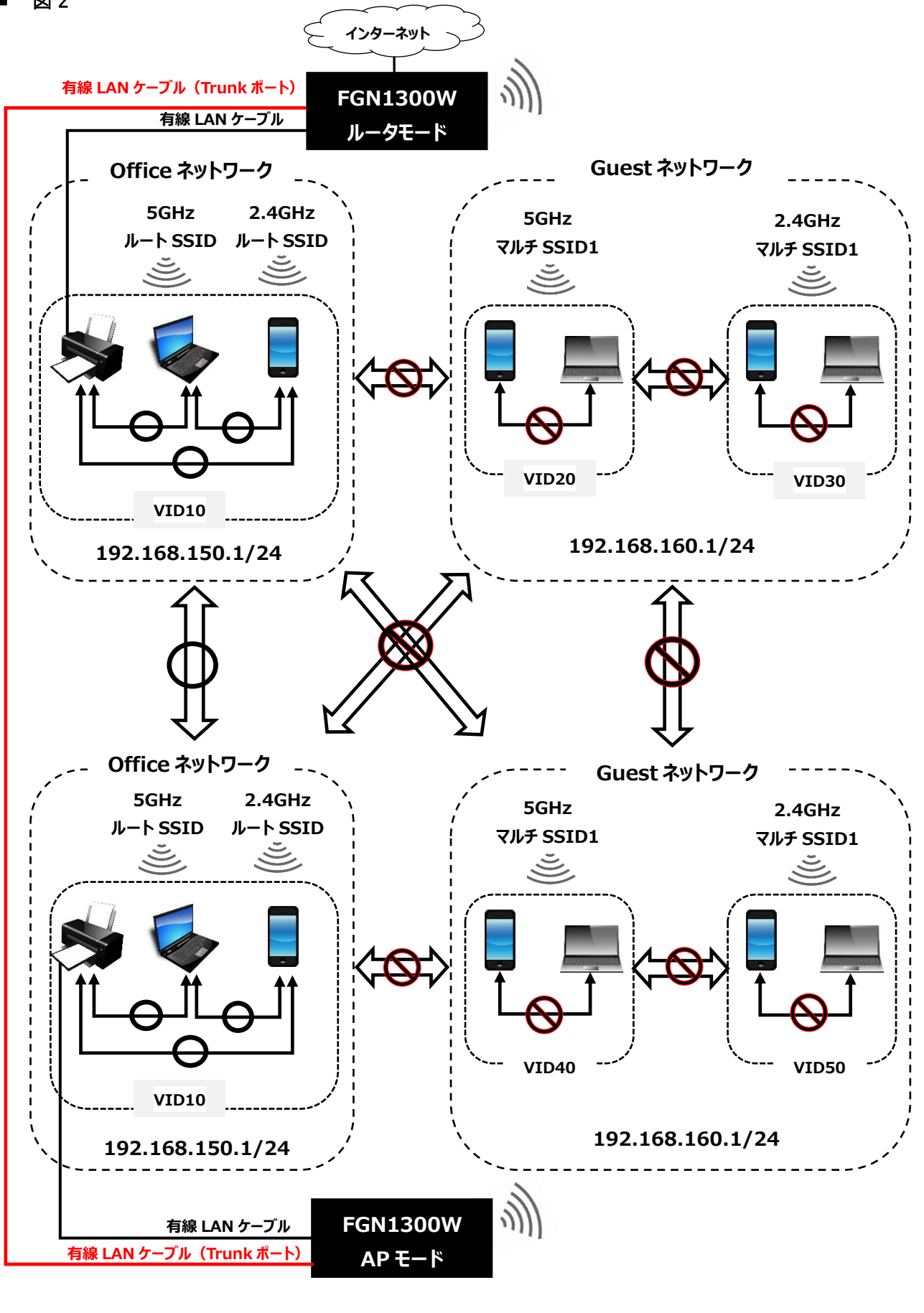
キャンセル 保存 保存して再起動

- 基本設定内の「無線クライアント間通信遮断」のチェックを外し、[保存] ボタンをクリックします。
- 基本設定内の [マルチ SSID 設定] ボタンをクリックし、マルチ SSID 設定画面を表示します。
- ⑧-(1) マルチ SSID1 の「無線クライアント間通信遮断」にチェックを入れ、[保存] ボタンをクリックします。
- 最終設定画面にて [保存して再起動] をクリックし、設定が反映したら完了です。

9.2 設定例 - VLAN 設定(Trunk ポート設定を利用するケース)

- ユースケース・利用条件
 - Office ネットワークと Guest ネットワークを分離する
 - Office ネットワーク、Guest ネットワークともにインターネットへの通信を行う
 - Office ネットワークは、192.198.150.1/24 のネットワーク帯とし、Wi-Fi はルート SSID を使用する
 - Guest ネットワークは、192.198.160.2/24 のネットワーク帯とし、Wi-Fi はマルチ SSID1 を使用する
 - Office ネットワークに接続している端末間の通信は許可する
 - Guest ネットワークに接続している端末間の通信は遮断する
 - ルーターモード機器の配下に AP モードの機器を1台接続し拡張する
 - ルーターモード機器と AP モード機器は LAN ケーブル1本で接続する(L1 ポート同士)

■ 図 2



■ 設定値

ルーターモード側

ネットワーク	インタフェース	VID	VLAN IP グループ	IP アドレス帯	無線クライアント間通信遮断
Office ネット ワーク	有線 LAN ポート 1	Trunk 有効 (1)	グループ 0	---	---
	有線 LAN ポート 2~4	10	グループ 0	192.168.150.1/24	---
	無線 LAN(5GHz)ルート SSID				無効
	無線 LAN(2.4GHz)ルート SSID				無効
Guest ネット ワーク	無線 LAN(5GHz)マルチ SSID1	20	グループ 1	192.168.160.1/24	有効
	無線 LAN(2.4GHz)マルチ SSID1	30			有効

AP(アクセスポイントモード)側

ネットワーク	インタフェース	VID	無線クライアント間通信遮断
Office ネット ワーク	有線 LAN ポート 1	Trunk 有効 (1)	---
	有線 LAN ポート 2~4	10	---
	無線 LAN(5GHz)ルート SSID		無効
	無線 LAN(2.4GHz)ルート SSID		無効
Guest ネット ワーク	無線 LAN(5GHz)マルチ SSID1	40	有効
	無線 LAN(2.4GHz)マルチ SSID1	50	有効

■ 制約条件

本ネットワーク構成において、Guest ネットワーク向けに弊社のリダイレクトサービスを利用する場合、以下の Office ネットワークに接続する端末についてもリダイレクト対象となります。

- ・ ルーター側の有線 LAN に接続している端末
- ・ アクセスポイント側で有線 LAN に接続している端末
- ・ アクセスポイント側で無線 LAN に接続している端末

■ 設定内容 1-1 (ルーターモード側)

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「VLAN 設定」を選択します。

VLAN設定

VLANの設定を行います。

- 同一のVLAN IDで設定されたLANポート間の通信を許可します。
- 異なるVLAN IDで設定されたLANポート間の通信を遮断します。

① VLANを有効にする

VLAN ID・IPグループ 設定

インタフェース	種別	② Tag	Trunk	VLAN ID(2-4094)	VLAN IPグループ
有線LAN ポート1	LAN	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	グループ0
有線LAN ポート2	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
有線LAN ポート3	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
有線LAN ポート4	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
無線LAN(5GHz)ルートSSID	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
④ 無線LAN(5GHz)マルチSSID1	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20	⑥ グループ1
無線LAN(5GHz)マルチSSID2	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
無線LAN(5GHz)マルチSSID3	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
無線LAN(5GHz)マルチSSID4	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
③ 無線LAN(2.4GHz)ルートSSID	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
④ 無線LAN(2.4GHz)マルチSSID1	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	30	⑥ グループ1
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID2	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID3	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID4	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
有線WAN ポート1	WAN	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	--

VLAN IP設定

グループ	VLAN IP	IPアドレス	サブネットマスク	DHCPサーバー	詳細設定
グループ0	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.150.1	255.255.255.0	有効	LAN設定
⑤ グループ1	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.160.1	255.255.255.0	無効	⑤-1 IP設定
グループ2	<input type="checkbox"/>	192.168.170.1	255.255.255.0	無効	IP設定
グループ3	<input type="checkbox"/>	192.168.180.1	255.255.255.0	無効	IP設定

⑦

グループ1IP設定 ⑤-1

グループ1のIPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

グループ1IPアドレス

グループ1サブネットマスク

グループ1DHCPサーバー設定

DHCPサーバー

付与IPアドレス範囲

先頭 終了

リース期限 (15-10080分)

ドメイン名

- ① 「VLAN を有効にする」にチェックを入れます。
- ② LAN ポート 1 の「Tag」と「Trunk」にチェックを入れます(VLAN ID は自動的に 1 が入力されます)。
- ③ Office ネットワーク用に LAN ポート 2~4、無線 LAN(5GHz)ルート SSID、(2.4GHz)ルート SSID の VLAN ID に 10 を入力します。
- ④ Guest ネットワーク用に無線 LAN(5GHz)マルチ SSID1 の VLAN ID に 20、(2.4GHz)マルチ SSID1 の VLAN ID に 30 を入力します。
- ⑤ VLAN IP 設定内のグループ 1 にチェックを入れ、[IP 設定]ボタンをクリックします。
- ⑤-1) グループ 1 IP 設定内の DHCP サーバーを「有効」に設定し、[保存]ボタンをクリックします。
- ⑥ 無線 LAN(5GHz)、(2.4GHz)マルチ SSID1 の VLAN IP グループで「グループ 1」を選択します。
- ⑦ [保存]ボタンをクリックし、設定を保存します。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN(5GHz)、(2.4GHz)」→「基本設定」を選択します。

無線LAN 5GHz 基本設定

無線LAN 5GHzの基本設定 (周波数、SSID、チャンネル設定など)を行います。

設定変更後、本機の再起動が行われていません。
変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

無線LANを無効にする

周波数

チャンネル幅

拡張チャンネル

チャンネル幅拡張範囲

チャンネル番号

ルートSSID設定

ルートSSID

⑧ 無線クライアント間通信遮断

ブロードキャストSSID

帯域 (伝送速度)

送信速度制限 (Mbps) Mbps (0: 制限無し)

受信速度制限 (Mbps) Mbps (0: 制限無し)

接続無線クライアント

マルチSSID設定 **⑨**

無線LAN 2.4GHz 基本設定

無線LAN 2.4GHzの基本設定 (周波数、SSID、チャンネル設定など)を行います。

設定変更後、本機の再起動が行われていません。
変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

無線LANを無効にする

周波数

チャンネル幅

拡張チャンネル

チャンネル番号

ルートSSID設定

ルートSSID

⑧ 無線クライアント間通信遮断

ブロードキャストSSID

帯域 (伝送速度)

送信速度制限 (Mbps) Mbps (0: 制限無し)

受信速度制限 (Mbps) Mbps (0: 制限無し)

接続無線クライアント

マルチSSID設定 **⑨**

無線LAN 5GHz マルチSSID設定 ⑨-1

無線LAN 5GHzのマルチSSID設定を行います。

設定変更後、本機の再起動が行われていません。
変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

マルチSSID	有効	周波数	マルチSSID	無線クライアント間通信遮断	ブロードキャストSSID	帯域 (伝送速度)	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線クライアント
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/>	5 GHz (a+n+a)	Office_5G	<input checked="" type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示
SSID2	<input type="checkbox"/>	5 GHz (a+n+a)	Ign1300W_VAP2_5G	<input type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示
SSID3	<input type="checkbox"/>	5 GHz (a+n+a)	Ign1300W_VAP3_5G	<input type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示
SSID4	<input type="checkbox"/>	5 GHz (a+n+a)	Ign1300W_VAP4_5G	<input type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示

無線LAN 2.4GHz マルチSSID設定 ⑨-1

無線LAN 2.4GHzのマルチSSID設定を行います。

設定変更後、本機の再起動が行われていません。
変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

マルチSSID	有効	周波数	マルチSSID	無線クライアント間通信遮断	ブロードキャストSSID	帯域 (伝送速度)	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線クライアント
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/>	2.4 GHz (b+g+n)	Office_2.4G	<input checked="" type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示
SSID2	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (b+g+n)	Ign1300W_VAP2_2.4G	<input type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示
SSID3	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (b+g+n)	Ign1300W_VAP3_2.4G	<input type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示
SSID4	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (b+g+n)	Ign1300W_VAP4_2.4G	<input type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示

- ⑧ 基本設定内の「無線クライアント間通信遮断」のチェックを外し、[保存]ボタンをクリックします。
- ⑨ 基本設定内の [マルチSSID 設定] ボタンをクリックし、マルチSSID 設定画面を表示します。
- ⑨-1) マルチSSID1 の「無線クライアント間通信遮断」にチェックを入れ [保存] ボタンをクリックします。
- ⑩ 最終設定画面にて [保存して再起動] をクリックし、設定が反映したら完了です。

■ 設定内容 1-2 (アクセスポイントモード側)

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「VLAN 設定」を選択します。

VLAN設定

VLANの設定を行います。

- 同一のVLAN IDで設定されたLANポート間の通信を許可します。
- 異なるVLAN IDで設定されたLANポート間の通信を遮断します。

VLANを有効にする

VLAN ID・IPグループ 設定

インタフェース	種別	Tag	Trunk	VLAN ID(2-4094)
有線LAN ポート1	LAN	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1
有線LAN ポート2	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10
有線LAN ポート3	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10
有線LAN ポート4	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10
無線LAN(5GHz)ルートSSID	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10
無線LAN(5GHz)マルチSSID1	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	40
無線LAN(5GHz)マルチSSID2	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2
無線LAN(5GHz)マルチSSID3	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2
無線LAN(5GHz)マルチSSID4	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2
無線LAN(2.4GHz)ルートSSID	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID1	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	50
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID2	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID3	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID4	LAN	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2
有線WAN ポート1	LAN	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1

キャンセル 保存 保存して再起動

- 「VLAN を有効にする」にチェックを入れます。
- LAN ポート 1 の「Tag」と「Trunk」にチェックを入れます(VLAN ID は自動的に 1 が入力されます)。
- Office ネットワーク用に LAN ポート 2~4、無線 LAN(5GHz)ルート SSID、(2.4GHz)ルート SSID の VLAN ID に 10 を入力します。
- Guest ネットワーク用に無線 LAN(5GHz)マルチ SSID1 の VLAN ID に 40、(2.4GHz)マルチ SSID1 の VLAN ID に 50 を入力します。
- 〔保存〕ボタンをクリックし、設定を保存します。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN(5GHz)、(2.4GHz)」→「基本設定」を選択します。

無線LAN 5GHz 基本設定

無線LAN 5GHzの基本設定 (周波数、SSID、チャンネル設定など)を行います。
設定変更後、本機の再起動が行われていません。
変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

無線LANを無効にする

周波数: 5 GHz (a+n+r+ac) ▼
チャンネル幅: 20MHz ▼
拡張チャンネル: 自動 ▼
チャンネル選択範囲: ALL ▼
チャンネル番号: 自動(DFS) ▼
ルートSSID設定: Office_5G

無線クライアント間通信遮断

ブロードキャストSSID: 有効 ▼
帯域 (伝送速度): 自動 ▼
送信速度制限 (Mbps): 0 Mbps (0: 制限無し)
受信速度制限 (Mbps): 0 Mbps (0: 制限無し)
接続無線クライアント: 表示

マルチSSID設定: マルチSSID設定

キャンセル 保存 保存して再起動

無線LAN 2.4GHz 基本設定

無線LAN 2.4GHzの基本設定 (周波数、SSID、チャンネル設定など)を行います。
設定変更後、本機の再起動が行われていません。
変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

無線LANを無効にする

周波数: 2.4 GHz (b+g+n) ▼
チャンネル幅: 20MHz ▼
拡張チャンネル: 上側 ▼
チャンネル番号: 自動 ▼
ルートSSID設定: Office_2.4G

無線クライアント間通信遮断

ブロードキャストSSID: 有効 ▼
帯域 (伝送速度): 自動 ▼
送信速度制限 (Mbps): 0 Mbps (0: 制限無し)
受信速度制限 (Mbps): 0 Mbps (0: 制限無し)
接続無線クライアント: 表示

マルチSSID設定: マルチSSID設定

キャンセル 保存 保存して再起動

無線LAN 5GHz マルチSSID設定 ⑦-(1)

無線LAN 5GHzマルチSSID設定を行います。
設定変更後、本機の再起動が行われていません。
変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

マルチSSID	有効	周波数	マルチSSID	無線クライアント間通信遮断	ブロードキャストSSID	帯域 (伝送速度)	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線クライアント
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/>	5 GHz (a+n+r+ac)	Guest_5G	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示
SSID2	<input type="checkbox"/>	5 GHz (a+n+r+ac)	Ign1300W_VAP2_5G	<input type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示
SSID3	<input type="checkbox"/>	5 GHz (a+n+r+ac)	Ign1300W_VAP3_5G	<input type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示
SSID4	<input type="checkbox"/>	5 GHz (a+n+r+ac)	Ign1300W_VAP4_5G	<input type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示

キャンセル 保存 保存して再起動

無線LAN 2.4GHz マルチSSID設定 ⑦-(1)

無線LAN 2.4GHzマルチSSID設定を行います。
設定変更後、本機の再起動が行われていません。
変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

マルチSSID	有効	周波数	マルチSSID	無線クライアント間通信遮断	ブロードキャストSSID	帯域 (伝送速度)	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線クライアント
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/>	2.4 GHz (b+g+n)	Guest_2.4G	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示
SSID2	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (b+g+n)	Ign1300W_VAP2_2.4G	<input type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示
SSID3	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (b+g+n)	Ign1300W_VAP3_2.4G	<input type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示
SSID4	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (b+g+n)	Ign1300W_VAP4_2.4G	<input type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示

キャンセル 保存 保存して再起動

- 基本設定内の「無線クライアント間通信遮断」のチェックを外し、〔保存〕ボタンをクリックします。
- 基本設定内の〔マルチSSID設定〕ボタンをクリックし、マルチSSID設定画面を表示します。
- ⑦-(1) マルチSSID1の「無線クライアント間通信遮断」にチェックを入れ、〔保存〕ボタンをクリックします。
- 最終設定画面にて〔保存して再起動〕をクリックし、設定が反映したら完了です。

9.3 工場出荷値一覧

機能		設定範囲	初期値		
動作モード		ルーター、アクセスポイント	ルーターモード		
LAN 設定	IP アドレス		192.168.150.1		
	サブネットマスク		255.255.255.0		
	DHCP サーバー機能	無効、有効	有効		
	付与 IP アドレス範囲		先頭: 192.168.150.30 終了: 192.168.150.254		
	リース期限	15~10080 分	360 分		
	802.1d Spanning Tree	無効、有効	無効		
WAN 設定	IPv4 設定	WAN 接続モード	・IP アドレス固定 ・DHCP クライアント ・PPPoE クライアント	DHCP クライアント	
		MTU Size	1400~1500 bytes	1492	
		DNS	自動取得、固定設定	自動取得	
		UPnP	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)	
		IGMP Proxy	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックなし(無効)	
		WAN 側からの PING 要求	チェックなし(拒否)、チェックあり(許可)	チェックなし(拒否)	
		WAN 側からの設定画面ログイン要求	チェックなし(拒否)、チェックあり(許可)	チェックなし(拒否)	
		L2TP/IPSec/PPTP パススルー	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)	
		IPv6 設定	WAN 接続モード	・無効 ・v6 コネクトモード	無効
	VLAN 設定		VLAN 機能	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックなし(無効)
VLAN IP 設定		VLAN IP 設定	VLANIP グループ: グループ 0~3	グループ 0	
有線 LAN ポート	L1~4、WAN	通信レート	・Auto ・10Base-Half-duplex ・10Base-Full-duplex ・100Base-Half-duplex ・100Base-Full-duplex ・1000Base-Full-duplex	Auto	
		電源	OFF、ON	ON	
無線 LAN 設定 5GHz/2.4GHz 共通	ルート SSID	無線 LAN 機能	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)	
		周波数	・5GHz : (a),(n),(a+n),(n+ac),(a+n+ac) ・2.4GHz : (b),(g),(n),(b+g),(g+n),(b+g+n)	・5GHz(a+n+ac) ・2.4GHz(b+g+n)	
		チャンネル幅	・5GHz : 20MHz,40MHz,80MHz ・2.4GHz : 20MHz,40MHz	・5GHz : 20MHz ・2.4GHz : 20MHz	
		拡張チャンネル	・5GHz : 自動 ・2.4GHz : 上側、下側	・5GHz : 自動 ・2.4GHz : 上側	
		チャンネル選択範囲(5GHz 対象)	5GHz : ALL、W52、W56	5GHz : ALL	
		チャンネル番号	・5GHz : 自動(DFS),36,40,44,...,140 ・2.4GHz : 自動,1,2,3,...,13	・5GHz : 自動(DFS) ・2.4GHz : 自動	
		ルート SSID	1~32 文字以内の半/全角の英字、数字、記号	RootSSID_5Ghz RootSSID_2.4Ghz	
		無線クライアント間通信遮断	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)	
		ブロードキャスト SSID	無効、有効	有効	
		帯域(伝送速度)	・5GHz : 自動,NSS1-MCS0~NSS1-MCS9,NSS2-MCS0~NSS2-MCS9 ・2.4GHz : 自動,1M,2M,...,MCS15	・5GHz : 自動 ・2.4GHz : 自動	
		セキュリティ	・無効/WEP/WPA/WAP2/WPA_Mixed ・TKIP/AES/TKIP・AES	無効	

機能		設定範囲	初期値	
無線 LAN 設定 5GHz/2.4GHz 共通	マルチ SSID1~4	無線 LAN 機能	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックなし(無効)
		マルチ SSID	1~32 文字以内の半/全角の英字、数字、記号	MultiSSID1_5Ghz MultiSSID2_5Ghz MultiSSID3_5Ghz MultiSSID4_5Ghz MultiSSID1_2.4Ghz MultiSSID2_2.4Ghz MultiSSID3_2.4Ghz MultiSSID4_2.4Ghz
		無線クライアント間 通信遮断	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)
		ブロードキャスト SSID	無効、有効	有効
		帯域(伝送速度)	・5GHz : Auto,NSS1-MCS0~NSS1-MCS9,NSS2-MCS0~NSS2-MCS9 ・2.4GHz: Auto,1M,2M...MCS15	・5GHz : Auto ・2.4GHz: Auto
		セキュリティ	・無効/WEP/WPA/WAP2/WPA_Mixed ・TKIP/AES/TKIP・AES	無効
		拡張設定	フラグメントしきい値	数値(256~2346)
	RTS しきい値		数値(0~2347)	2347
	ビーコン間隔		数値(20~1024)	100
	プリアンブルタイプ (2.4GHz 対象)		ロングプリアンブル/ショートプリアンブル	ロングプリアンブル
	プロテクション		有効、無効	無効
	Aggregation		有効、無効	有効
	Short GI		有効、無効	有効
	送信出力		100%/70%/50%/35%/15%	100%
	アクセス制御設定	・無効 ・登録した MAC アドレスアクセス許可 ・登録した MAC アドレスアクセス拒否	無効	
	スケジュール設定	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックなし(無効)	
	システム管理	システムモニタ	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)
		時刻情報設定(NTP クライアント)	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)
		DoS 検知・防御設定	無効、有効	・Port Scan: 有効 ・SYN Flood: 有効
		HTTPS リダイレクト設定	無効、有効	有効

9.4 入力・登録制限値一覧

機能	項目	入力・登録制限値
LAN 設定	DHCP 固定 IP アドレス	20 件
	コメント	20 文字以内の半角英数字、記号、(コンマ) & (アンパサンド); (セミコロン) を除く
WAN 設定	MTU size (DHCP クライアント)	数値 (1400~1500)
	MTU size (IP アドレス固定)	数値 (1400~1500)
	MTU size (PPPoE クライアント)	数値 (1360~1492)
	PPPoE ユーザー名	1~64 文字以内の半/全角の英字、数字、記号
	PPPoE パスワード	1~64 文字以内の半/全角の英字、数字、記号
VLAN 設定	VLAN ID	数値 (2~4094)
IPv4 ファイアウォール設定	MAC フィルタリング	20 件
	URL フィルタリング	20 件
	ルーター宛フィルタリング	100 件
	ルーター通過フィルタリング	100 件
	ポートマッピング	200 件
	コメント	20 文字以内の半角英数字、記号、(コンマ) & (アンパサンド); (セミコロン) を除く
無線 LAN 設定	SSID	1~32 文字以内の半/全角の英字、数字、記号
	アクセス制御	20 件
ユーザー名・パスワード設定	ユーザー名	16 文字以内の半角の英字、数字、記号
	パスワード	32 文字以内の半角の英字、数字、記号

利用可能記号一覧

! (感嘆符)	, (コンマ)	[(始め亀甲括弧)
" (ダブルクォーテーション)	- (ハイフンマイナス)	¥ (円記号)
# (番号記号)	. (ピリオド)] (終わり亀甲括弧)
\$ (ドル記号)	/ (スラッシュ)	^ (サーカムフレックス)
% (パーセント記号)	: (コロン)	_ (アンダースコア)
& (アンパサンド)	; (セミコロン)	` (グレイヴ・アクセント)
' (アポストロフィー)	< (不等号 (より小))	{ (始め波括弧)
((始め丸括弧)	= (等号)	(縦線)
) (終わり丸括弧)	> (不等号 (より大))	} (終わり波括弧)
* (アスタリスク)	? (疑問符)	~ (オーバーライン)
+ (プラス記号)	@ (単価記号)	

9.5 製品仕様

カテゴリ	項目	概要	備考	
ハードウェア仕様	CPU	1.3GHz		
	RAM	512MB DDR3		
	Flash ROM	128MB		
	ボタン	電源スイッチ リセットボタン		
	LED	⏻ (電源)		緑色
		WAN		緑色
		OP		緑色
		L1~L4 (LAN1~4)		緑色
		S1~S3 (STATUS1~3)		緑色
		2.4G、5G (Wi-Fi)		緑色
	イーサネット:LAN	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T RJ-45 ×4		
	イーサネット:WAN	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T RJ-45 ×1		
	無線LAN	IEEE802.11 b/g/n/a/ac		
	電源	DC12V/2A (50/60Hz)		
		Power over Ethernet (IEEE802.3af/at 準拠)		
	外形寸法	約 167 (W) × 117 (H) × 30 (D) mm	突起部除く	
	質量	約 270g	製品本体のみ	
消費電力	最大: 約 13W			
動作環境	温度: -10~40°C、湿度 5~90%	結露なきこと		
保存環境	温度: -20~70°C、湿度 5~90%	結露なきこと		
有線LAN仕様	対応規格	IEEE802.3i (10BASE-T)		
		IEEE802.3u (100BASE-TX)		
		IEEE802.3ab (1000BASE-T)		
		IEEE802.3af (Power over Ethernet)		
インターフェース	RJ-45 ポート × 5			
伝送速度	10/100/1000Mbps (オートネゴシエーション、オートMDI/MDI-X)			
無線LAN仕様	対応規格	IEEE802.11 b/g/n/a/ac		
	対応チャンネル	2.4GHz: 1~13ch		
		5GHz: 36、40、44、48、52、56、60、 64、100、104、108、112、116、 120、124、128、132、136、140ch		
	対応周波数	2.4GHz、5GHz (W52/W53/W56)		

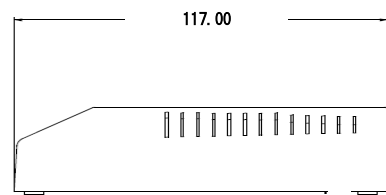
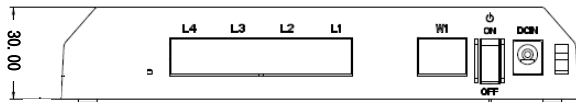
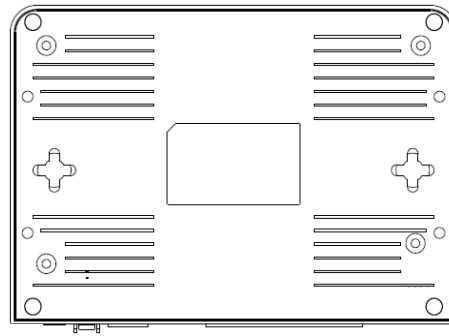
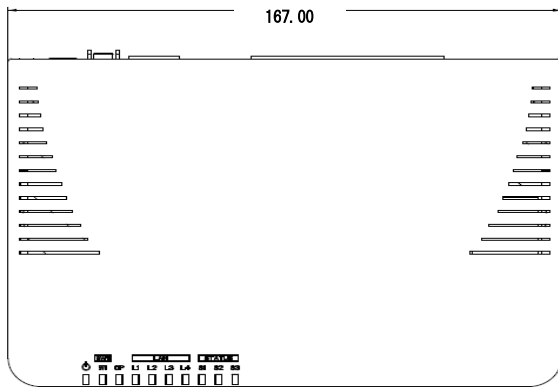
カテゴリ	項目	概要	備考
無線 LAN 仕様	伝送速度	IEEE802.11b : 最大 11Mbps	
		IEEE802.11g : 最大 54Mbps	
		IEEE802.11n : 最大 300Mbps	
		IEEE802.11ac : 最大 867Mbps	
	伝送方式	DSSS 方式 (直接拡散型スペクトラム拡散)	
		OFDM 方式 (直交周波数分割多重変調)	
	アンテナ	2.4GHz/5GHz 内蔵アンテナ×2	※1
	SSID	最大 10 個	
	動作モード	インフラストラクチャモード	
	セキュリティ	WEP (キー長 : 64bit/128bit)	
WPA/WPA2-PSK (暗号化 : TKIP/AES)			
MAC アドレスフィルタリング			
無線 LAN クライアント間通信遮断			
ソフトウェア仕様	動作モード切替	ルーター、アクセスポイントモード 切替	
	WAN 回線	IPv4 IP アドレス固定 (手動設定)	
		IPv4 DHCP クライアント	
		IPv4 PPPoE クライアント	
		v6 コネクト (IPv4 over IPv6 接続)	※2
	アドレス変換	NAPT (IP マスカレード)	
	IPv4 ファイアウォール	MAC フィルタリング、URL フィルタリング、各種パケットフィルタリング、ポートマッピング	※3
	IPv6 ファイアウォール	IPv6 SPI (Stateful Packet Inspection)	※4
	LAN 基本機能	DHCP サーバー (有効/無効)	
		IP アドレス固定付与設定	
	VLAN 機能	ポートベース VLAN、マルチプル VLAN、タグ VLAN (IEEE802.1Q)	※5
	無線 LAN スケジュール機能	無線 LAN 動作に関するスケジュール設定	
	VPN 対応	IPsec/L2TP/PPTP パススルー	
	ログ機能	システムログ	
コンフィグ管理	保存/リストア		

カテゴリ	項目	概要	備考
ソフトウェア仕様	リダイレクト機能	指定 Web サイトへのリダイレクト	
		弊社プラットフォームを活用した Web サイトへのリダイレクト	
	ファームウェアバージョンアップ機能	ネットワーク経由での自動バージョンアップ設定	
	スケジュール再起動機能	ネットワーク経由での定期再起動設定	
	WebUI 機能	設定 UI	
ラベル	底面パネル	型番、販売元、認証ロゴ (JATE、VCCI class-A) シリアル番号、LAN MAC アドレス (各バーコード)	

- ※1. アンテナ利得
 ・ 2.4GHz : 3.09dBi ・ 5GHz : 3.98dBi
- ※2. 以下の IPv6 通信を利用したサービスについては動作保証しておりません。
 ・ IPv6 マルチキャスト通信を利用した通信サービス
 ・ 本機の上位側からの IPv6 アドレスの払い出しが DHCPv6-PD を利用した通信サービス
- ※3. AP モード選択時は、本機宛パケットフィルタリングのみ利用できます。
- ※4. IPv6 SPI 機能は固定設定です。
- ※5. VLAN 設定時の UP リンクポートは、WAN ポートのみで固定設定です。
 タグ VLAN は、1 つのポートのみ Trunk ポートとして設定することができます。
 Trunk ポートを通過するパケットは全てタグ付けされて処理されます。
 無線 LAN インタフェースはタグが使用できません。

9.6 筐体寸法

单位: mm



9.7 トラブルシューティング/Q&A 集

Q. 電源が入らない。(本機の電源スイッチを ON にしても電源 LED が点灯しない)

1. 電源アダプタと電源コードが正しく接続されているか確認してください。
2. 本機と電源プラグが正しく接続されているか確認してください。
3. PoE 給電を行っている場合、WAN ポートに LAN ケーブル(RJ45)が正しく接続されているか確認してください。

Q. 本機の WebGUI にアクセスできない。

1. 接続端末(PC 等)と本機の LAN ポートが、LAN ケーブル(RJ45)で正しく接続されているか確認してください。
2. 接続端末(PC 等)が接続する本機の LAN の LED が点灯しているか確認してください。
3. 接続端末(PC 等)の IP アドレスを固定設定にしている場合、ルーターの IP アドレスと重複していないか確認してください。

Q. 本機を介して、インターネットへ接続できない。

1. WAN の IP アドレスが正しく取得されているか確認してください。
2. 接続端末(PC 等)の LAN の IP アドレスが自動取得になっているか確認してください。
3. 接続端末(PC 等)がルーターから配布される IP アドレスを正しく取得しているか確認してください。
4. 接続端末(PC 等)のデフォルトゲートウェイ、DNS が正しく取得、設定されているか確認してください。
5. 接続端末(PC 等)の IP アドレスを固定設定にしている場合、ルーターのネットワーク帯と同じ値になっているか確認してください。

本書の内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

株式会社ファイバークエスト

【URL】 <https://www.fibergate.co.jp/>